有馬歳時記

シリーズ―人と出逢える街・有馬〈14〉

風雅ナルモノ、タント有リマス

「吉高屋」吉田（よしだ）佳展（よしのぶ）さん

吉田佳展さんが持つパンのパッケージも、自身がデザインしたもの

神戸電鉄有馬温泉駅を出るとすぐに、どこか懐かしい店構えのみやげもの屋がある。「有馬名物と和の生活道具・縁起物　吉高屋」の看板には、「風雅ナルモノ、懐カシキモノ、楽シキモノ、美味ナルモノ、タント有リマス」とある。店のプロデューサーでもある吉田佳展さんを取材した。

吉高屋は、有馬温泉駅前に古くからあるみやげもの店。佳展さんは、14年間神戸そごうに勤務した後、店を継ぎ、震災

どこかノスタルジックな店先

露天風呂とご昼食
ひさご弁当
兵衛
向陽閣
TEL（078）904－0501(代)

有馬温泉月光園
GEKKOEN
湯殿館
KOROKAN
TEL（078）903－2255
姉妹旅館 游月山荘
TEL（078）904－0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA
SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL（078）903－1024
攝津 有馬
御所坊
TEL（078）904－0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿
国際観光旅館
陵楓閣
TEL（078）904－0675
TELEX　5627－115

後に店を一新した。飛騨や湯布院などの人気の観光地へ勉強に行ったという佳展さん。手作りの食品や和雑貨、レトロなおもちゃがところ狭しと並び、何度行っても楽しく、飽きることがない店。

「ふつうの雑貨や食べ物でも、ちょっと工夫してフレーバーすることによって、楽しいものになる。私は基本的にはそんなにセンスがいいわけじゃないんですよ。でも手作り感覚の演出を楽しんでいます」

商品点数は、雑貨だけでおよそ2000点。ぼけに効くというイチョウの煎じ汁入りの手作りパン、金泉で染めたのれん、あけびのつるで編んだかご、古い着物の布を使ったリボンやぬいぐるみ、こんなものもある、あんなものも、といった風に、時間がたつのも忘れてしまう。

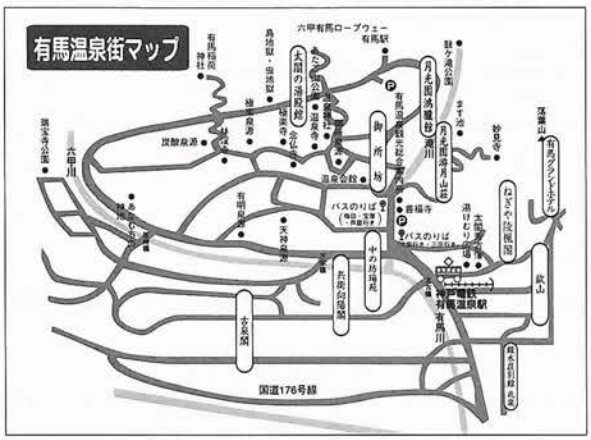
「ごちゃごちゃとした中から、宝探しのように買い物を楽しんでいただけたら」と、佳展さん。

「生きのいい観光地というのは、街並みから始まって街全体がひとつのアミューズメント施設のようなんですよ。ささいな路地裏におもしろい店があったり、奥が深い。だから有馬も、あからさまではないにしても商売気を出してほしい。お客さまに喜ばれる発想や、多様なしかけをもっとすればいいと思います。私も、見て、帰って、また来てもらえる店にしようとがんばっています」

吉高屋は、有馬温泉の玄関口を、おしゃれに楽しく演出している。〈鳥羽〉

●吉高屋
☎(078)904・0154
営業9：00～21：00 水曜休

「こんなようなもの、ありませんか」と尋ねればいろいろなものを出してくれる



有馬よい湯フェア21

2月6日(火)～12日(月・祝)
有馬ひょうたんまつり
(神鉄ギャラリー等で、ひょうたんの作品コンクールと即売会)

3月下旬～9月
有馬温泉花の旅
(花マップを持って有馬の街を散策)

4月8日(日)
桜祭と桜の茶会

5月6日(日)
煎茶の茶会

6月下旬
沙羅の花と一弦琴の鑑賞会

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろり亭「華篭」で!!
(昼5000円～、夜8000円～)
有馬温泉　政府登録国際観光旅館
銀水荘別館
水楽(ちょうらく)
TEL (078) 904－3656(代)
URL:http://nrjp.com/chyoraku/

自然の恵みを
湯けむりに伝える
政府登録国際観光旅館
古泉閣
TEL (078) 904－0731

日本の伝統
数寄屋造りの館
飲山
TEL (078) 904－0701
チェックイン13：00、アウト12：00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館
中の坊瑞苑
TEL (078) 904－0781
会議セミナーからご家族づれまで
有馬グランドホテル
TEL (078) 904－0181

本通りにあっても隠れ家「5丁目小鉄屋」

店名の由来は、サーファーグループ「小鉄」から。1月6日にオープンして以来、常連客はその仲間だったアパレル関係の人が多い。店内は、60年代のスイングジャズが流れ、アメリカンアンティークがいっぱい。これは、オーナーの趣味らしい。「西洋かぶれのなかで和の食にこだわりたい」と店の方向性を示す。お酒は洋酒、焼酎（温泉焼酎・夢なんてのもある）、日本酒（北海道から九州まで）とめずらしい逸品揃い。プリプリの干物、クジラのステーキ（800円）、今しかないクエ鍋（1000円）と季節ごとのおいしい魚料理が特徴。兄弟が海産物の仕入れ会社とリカーショップとあらば納得。ビール380円～、刺し身盛り合わせ900円、日替わりランチは700円～、いずれも激安価格。

和風の外観に反して中に入るとアメリカン居酒屋？

その日に入る材料でのメニューに価値あり

■5丁目小鉄屋
神戸市中央区元町通5丁目7・1
☎078・351・6900
11：30～14：00／17：00～22：00
土・日・祝は11：30～15：00

フレンチティストのヴェトナム料理「VIETNAM FROG」

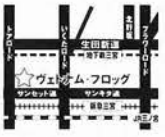
FROG（かえる）は、ヴェトナムでは幸福の守り神。店内のあちこちでキュートなかえる達が迎えてくれる。中国とフランスの長い植民地時代には、それらの食文化も多く吸収したヴェトナム。あっさりしたヴェトナム料理を、より食べやすくフレンチティストに仕上げた料理が盛りだくさん。

コロニアル建築を意識した店内

おなじみの生春巻きや焼きそばはもちろん、さとうきびに巻きつけたエビ団子（1200円）、ポワレした白子のサラダ（1200円）、蒸しカブラのなめこソース（780円）などオリジナリティあふれるメニュー。グラスワインは500円～、ボトル1800円～。前菜、ヌードル、ご飯もの、デザートがついたボリュームたっぷりのランチは1600円～。

かえるがお出迎え

■VIETNAM FROG
神戸市中央区北長狭通2・5・8
☎078・333・1125
ランチ／11：30～15：00
ディナー／17：00～23：00
（オーダーストップは1時間前）

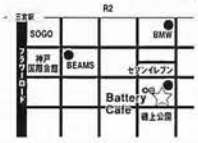


心の充電しまっしょ。「BATTERY CAFE」で

昨年の暮れにオープン。いらないものをなくして、シンプルなのがホントのかたち。「新しいファミレス」いつでも、誰とでも来れる店、カフェという名の食堂です」と神野店長。シンプルなテーブルと椅子が、高い天井のすっきりした空間に並べられているだけ。すべて手作りな料理は男の台所というこだわりの味。ことこと煮込んだあったかシチュー（900円）に付いたマッシュポテトは究極の味。オリエンタルチキンサラダ（half600円）には、ショウガが入ってユニーク。バターと生クリームたっぷりのカルボナーラ（1000円）はボリュームがある。ニューヨークのイタリア料理屋さんの気分。ランチは日替わりで800円。

「となりのコンビニに来たついでに気軽にお茶して下さい」と。人気はカフェラテ400円、ホッチョコ500円。この地域これから流行りそうなエリア

■Battery CAFE
神戸市中央区磯上通5丁目1・26
☎078・262・9575
11：30～23：00
年中無休



中村友一の味な街

最終回

京都「なかむら」

京都「なかむら」にて。筆者（右）と五代目当主中村文治さん。屏風には俳人・秋山巳之留の句「花しぐれ　京師（京都）の夜を　奈かむらに」と。

「味な街」を書き始めた時、よもや三年も連載しようとは思いもしなかった。三十店以上の取材を通じて、この道一筋の味と心を堪能させて頂いたが、最終回は近年、和洋中華にエスニック等の様々の嗜好が広まる中で再認識されてきた和食の原点を省み、特に関西風の淡味が見直されている折から、私の実弟、京都「なかむら」の五代目当主中村文治のアドバイスを得て京料理の歴史を辿り、最後に二品の献立を紹介し「京の料理をあなた自身の家庭の味に」という趣向で結びたいと思う。

和食は四季の変化の著しい日本の風土の中で独特の発達をしたが、和食としての完成を見たのは江戸後期である。確かに飛鳥時代の貴族は鯛の塩煮や蒸豚を食し、奈良時代には焼鮒とか野草と魚肉を酢で合えた料理もあったとか。平安時代には儀式食が重んじられ、調理技術より外観や形式が強調された故か、源氏物語や枕草子にも酒はあっても食味を楽しむ風潮は読みとれない。鎌倉・室町の文化形成の時代に精進、本膳、懐石という日本料理の原形が生まれ、江戸時代に受けつがれて大きく展開していくが、江戸初期は武士の質素の精神から京の公家風に染まらない野趣の強い塩味を主とし、町人はイカ塩焼や油揚を食した由。元禄を経て上方と江戸文化が同化し、文化文政の時代を迎えて町人文化爛然の中に日本食は見事に花開くのである。

京都は元来、自然資源の乏しい盆地であり漬け物等の保存食に頼るしかなかった。新鮮な材料を求めて日本海でとれた鯖、ぐじ、かれい等が一塩されて京へ運ばれた。魚を背負って京へ十八里の若狭街道をひた走る商人が京の街で仰いだ日の出こそ、正に京料理の黎明であった。海に遠いパリで食材の味をひき立てるためにソースが発達したように、京都の包丁人は加工技術に生命をかけた。京料理の質の向上について無視できないのは御所に仕えた公家衆の役割である。味にうるさいが倹約家の公家衆の難題に応えて料理人は必死に腕を磨いた。江戸で下賤魚と嫌われた鱧を骨切りという技術によって絶品の域に上げたのも努力の賜物である。その後の料理文化振興に貢献したのは京の旦那衆で、味に対する厳しいしごきの中で京料理は更に昇華されてきた。京料理の根本は凝りすぎた味や演出ではなく素材の味そのものを供すること。鯛は鯛でしかなく、ひらめはひらめ以外に化け得ない醍醐味である。筍の春寒煮という料理は筍を塩と梅干だけの味つけで「ええ塩梅」という言葉の所以がここにある。さて、家庭でできる簡単な京の味は、

一、かぶら蒸し―材料・聖護院蕪、きくらげ、ゆりね、焼あなご、生麩、一塩ぐじ、わさび、卵白、葛。

①きくらげを湯でもどし千切りに②ゆりねをはがして湯通しし③あなご、生麩、ぐじは一口大に切る④蕪は皮を厚くむいておろし金でおろし、布巾でこぶし大に絞り卵白を合わせて塩で薄味をつける⑤小どんぶりの底に具を入れ、丸めた蕪をのせて二十分位蒸す⑥吸い物地に葛をひいてあんを作り蕪にかけてわさびを添える。

二、ぐじの酒蒸―料亭では一本釣りのぐじを使うが家庭なら一塩した小ぶりのぐじに熱湯をかけ逆なでして鱗をとる。皿に昆布を敷き魚をのせて盃一杯の酒を加え、強火で七～八分蒸す。豆腐、菊菜、椎茸等を一緒に蒸すも可。ポン酢か好みのだしで供する。

食物はモノだが味は心である。IT革命の現代でも味はデジタルには生まれない。生涯中此の一回の菜にかける包丁人の一期一会の心こそは日本の味の神髄なのだと思う。

←舌ざわりもなめらかに、かぶら本来の味が生きている「かぶら蒸し」。よくかき混ぜて食べるのがおいしい。

「なかむら」六代目元計さんにかぶら蒸しの作り方を教わる。「ぐじ（甘調）は皮と身の間に旨味があるんですよ」

81　●中村友一／有限会社御影貿易商事　取締役社長・田崎真珠株式会社顧問

ART アメリカン・ドリームの世紀展

チケットプレゼント

「来たれ、合衆国陸軍へ」
ジェームズ・モンゴメリー・フラッグ

20世紀後半の世界に大きな影響を与えたアメリカン・ポップ・カルチャー。1950～60年代を中心に、ポップ・アートなどの美術作品のみならず、雑誌『ライフ』やジャズ、ロックのレコード・ジャケット、テールフィンのついたキャデラックや映画『イージー・ライダー』に登場したハーレーのチョッパー・バイクなど、アメリカの黄金期を象徴する事物を数多く展示。

2／7（水）～3／25（日）10：00～17：00 月曜休
兵庫県立近代美術館（阪急「王子公園」駅徒歩5分、市バス王子動物園前下車）
一般1000円　大高生700円　中小生400円
☎078-801-1591

ART 瓦礫の中から 高崎研一郎展

「彩雲流踊」油彩

「瓦礫の中から一輪の花を見つけた時、憔悴の気持ちの内に、一脈の光が差し込んできた思いであった。私は一枚の作品を創ることができました。『それでも咲いた！』それからは、よみがえる神戸を願いつつ創作を続けた」。2／13～24には、アートサロン・クリスタル神戸にて「高崎研一郎展　ヨーロッパの旅から」を同時開催。

2／13（火）～18（日）10：00～19：00（最終日～17：00）
兵庫県民会館1階（JR・阪神「元町」駅徒歩7分、地下鉄「県庁前」駅すぐ）
☎078-321-2131

PLAY 神戸21世紀・復興記念事業「あなたのステージ・夢体験」 第4回「彩―IRODORI―」日本舞踊公演

チケットプレゼント

藤間莉佳子をはじめとする関西の師範10名による「彩」

関西在住の日本舞踊藤間流師範10名によるグループ『彩（いろどり）』が結成7年めをむかえ、神戸では初の公演。「希望の光」をテーマに、春の訪れ、子どもの無邪気、明日への希望、人とのつながりなど、7曲目を舞う。わかりやすい解説つきで、日本の伝統芸能を、誰にでも楽しめる舞台となっている。約2時間の公演。先着20名にチケットプレゼントあり。

2／25（日）15：00開演
神戸文化中ホール（地下鉄「大倉山」駅下車）一般4000円
※チケットプレゼント申込み／問い合わせ先
〒654-0052神戸市須磨区行幸2-3-24　藤間莉佳子
☎078-331-4771

PLAY わらび座全国公演　司馬遼太郎原作 「菜の花の沖」

司馬遼太郎原作、ジェームス三木脚本・演出、妹尾河童舞台美術、劇団わらび座企画・出演の「菜の花の沖」は、全国で300公演を数え、いよいよ神戸でのファイナル公演。日本とロシアの橋渡しを担い、命をかけて海に生きた男のロマンが、舞台上で壮大に展開される。第1部はジェームス三木による記念講演、高田屋嘉兵衛に学ぶシンポジウム、第2部は「菜の花の沖」公演。

3／24（土）第1部13：00開演　第2部15：30開演
神戸文化大ホール（地下鉄「大倉山」駅下車）
前売S席4000円　A席3500円（全席指定・当日券は500円増し）
わらび座関西事務局　☎06-6864-9600

MUSIC 2001Chisa Kano ファーストライブ

ジャズ・ボーカリスト嘉納千紗がちょっと遅れたバレンタイン・ナイトに贈るジャズライブ。サリナ・ジョーンズも絶賛したピアニスト・多田恵美子、新進気鋭のベーシスト・中村ナオミの女性トリオで、「マイ・ファニー・バレンタイン」などスタンダード・ジャズを中心に、女性からの愛を歌う。その愛を受ける幸福な男性のみならず、カップルや女性にもステキな夜を提供する。

2／24（土） 第1部19：00開演 第2部20：20開演
カフェ萬屋宗兵衛（元町商店街1丁目）☎078-332-1963
一般2000円（ドリンクつき）
問い合わせ☎078-709-6180

アットホームでホットなステージを見せる嘉納千紗

MUSIC ～2月～

★チキンジョージ ☎078・392・0146
1（木）MilleFace、3（土）神保彰、4（日）渡辺真知子、14（水）KANKAWA DRIVE、16（金）野呂一生、18（土）NOVELA2001、22（木）THE PRIVATES／THE NEATBEATS／GEORGIE PIE、25（日）pre-school、28（水）AJIKO

★ピアジュリアン ☎078・391・8081
1（木）藤村匡人（バリトン）長谷智子（p）、2（金）中井亮子（p）、4（日）石塚祥子（p）、7（水）落合桜（p）、8（木）田中希美（sp）近藤美香（p）、9（金）鈴木華重子（p）、10（土）大迫めぐみ（p）大迫さゆり（p）、11（日）金澤佳代子（p）大迫めぐみ（p）、14（水）西本淳（sax）濱長良美（p）、15（木）高橋乗子（vc）近藤美香（p）、16（金）鈴木華重子（p）、17（土）寺内智子（sp）袖野亜希子（p）、18（日）辻本恵子（p）、21（水）折川真理（vn）中元智子（p）、22（木）龍智子（p）近藤美香（p）、24（土）武村美穂子（fl）佐藤裕美子（p）、28（水）西本淳（sax）、濱長良美（p）

★Holly's ☎078・251・5147
9（金）古谷光広カルテット、10（土）藤村麻紀（vo）大内玲子（p）小出恭正（b）、11（日）新田佳子（vo）たくみゆか（p）宮本龍治（b）、16（金）ウェスタンリズムコメッツ、17（土）長井美恵子（p）トリオ、22（木）原田耕自（p）吹田善仁（b）富士正太郎（dr）、24（土）Robin Eve（尺八）Ron Mason（g）Dave Boyle（tb）小出恭正（b）松井道郎（dr）

★T2楽屋 ☎0798・242・5888
2（金）アクアボム、4（日）カルメンマキアコースティックLIVE、11（日）ゼンジ、15（木）KAJA、16（金）KOUTARO SUPER SOUL、17（土）18（日）ONO chan Band、23（金）サルサParty、24（土）Latin Party、25（日）LAST SUNDAY NIGHT／天野SHO・TOYO＆SAMPEI、28（水）Jun with光太郎

★イエローリボン ☎0798・34・2872
3（土）ミキ&テネシーウィングス、4（日）ハレクラニボーイズ、7（水）カントリーダンスレッスン、10（土）Hit Parade、11日）Liverpool、16（金）Daddy Boys Club Band、17（土）Kenworth、18（日）Stampede、22（木）Match Vox、23（金）45RPM、25（日）Surf Rider

★萬屋宗兵衛 ☎078・332・1963
11（日）Leest／李浩麗（vo）東大（g）木村美泉（Parc）正鴿秀敏（b）、17（土）ともみき／清水勇博（dr）、水野篤（b）山本昌広（as）高橋知道（ts）奥村美里（p）、18（日）FIVE SOUND／松本マンボ（org）久井康次（g）ボス河口（ts）小松竜吉（ts）藤本ゴン（b）土居秀明（dr）、24（土）2001嘉納千紗ファーストライブ

★WACA² ☎078・333・6768
3（土）GOOD SPEED、10（土）45RPM、17（土）MASH、24（土）BLIND DATE／ROMEL AMADO（g、vo）島田和夫（dr）

TICKET PRESENT チケットプレゼント

＜ART＞
★2／7～3／25「アメリカン・ドリームの世紀展」（兵庫県立近代美術館）ペア5組

＜PLAY＞
★2／25「彩 日本舞踊公演」（神戸文化ホール）ペア10組 ※応募先は右ページ参照

＜CINEMA＞
★パルシネマしんこうえん
（3月末まで有効）2名▽～2／7「インサイダー」「イギリスから来た男」▽2／8～16「クレイドル・ウィル・ロック」「ボーイズ・ドント・クライ」▽2／17～26「マルコヴィッチの穴」「17歳のカルテ」

★シネモザイク1～4
（3月末まで有効）2名▽1▼「クリムゾンリバー」▽2▼「ハート・オブ・ウーマン」▽3▼「狗神」「弟切草」

★ペレーネシネマ・カナートホール（3月末まで有効）ペア5組▽～2／16「頭文字D」▽2／3～9「メイド・イン・ホンコン」▽2／3～16「リトル・チュン」▽2／10～16「花火降る夏」▽2／中旬～「初恋のきた道」

★西灘劇場
（3月末まで有効）ペア5組▽～2／9「ソフィーの世界」「17歳のカルテ」▽2／10～23「電話で抱きしめて」「FINAL CUT」

●ハガキかFAXで①希望するチケット②氏名③郵便番号④住所⑤年齢⑥職業⑦電話番号⑧2月号でおもしろかった記事とその理由を明記して下記まで（2／28必着）。
〒650-0011神戸市中央区下山手通2-13-3建創ビル4F
（FAX078-331-2795）月刊神戸っ子「もだかる0102」編集室

MODE CULT'S VOICE

●以前は花隈に住んでいましたので「松酒家」さん、昔は「松の家」さんでした。ウドノ葉生子さんのおばあさまをよく存じ上げていました。神戸っ子は、なつかしい料理屋さん等もあり楽しみです。
中央区・船谷さん

●12月号の「長崎ぶらりぶうらり紀行」には、私も10月に行ってきていますので、とても親近感が持てました。見返り柳や福砂屋（カステラが一番おいしい）、それに最大の祭り「くんち」も通しで見物できました。もっと地方の港町の話題を取り上げてもいいかも。**中央区・角本さん**

●いつも“神戸っ子”楽しんでいます。今月の記事の中でZOOM IN ZOOがおもしろかったです。子ゾウの誕生楽しみにしています。ズゼちゃんがんばってネ。**長田区・小島さん**

○2月号「酒特集」のご感想などお待ちしております。

米田カメラマンが写真集を、NHKから被災者の声を

米田カメラマンがとらえた神戸の記憶（本体2000円＋税）

月刊神戸っ子の専属カメラマンである米田定蔵・英男さん親子は、震災の直後に、傾いたスタジオからカメラとフィルムを引きずり出し、6時10分からシャッターを押した。「異形のまちを信じられなかった。これがもし嘘の風景であっても、見たものをフィルムにとどめておこうと思った」

震災から6年、その時に2人が写したモノクロ写真と、現在の風景をあわせた写真集を出版。震災から6年、「あの日」以来の神戸を克明に記録している。「人は記憶に支えられて生きていくのだと思う」という米田定蔵カメラマンが撮った、1962年からの古い神戸の写真を見ると、神戸の記憶とたどって来た道が、ありありとよみがえってくる。

NHK神戸・大阪放送局からは、「阪神大震災から5年〜被災者アンケート報告」が出版された。被災者の「あの日」とその後が、生の声を通して記録されている。

酒と狂言を楽しむ夕べ

笑いの伝統芸能、狂言のなかから、「酒」を題材としたものを、灘の酒とともに楽しむ夕べ「善竹家の酒狂言」が、2月24日（土）神戸酒心館にて開かれる。出演は大蔵流狂言方の善竹忠一郎、善竹隆司・隆平兄弟。善竹隆司によるお話「お酒と狂言の魅力」の後、「二九十八（にくじゅうはち）」「棒縛（ぼうしばり）」の2作品を上演。中世庶民の知恵とエネルギーに満ちたおおらかな笑いを、酒蔵のホールで楽しめる。

●第2回善竹家の酒狂言
とき／2月24日（土）午後3時開演
ところ／神戸酒心館ホール（阪神「石屋川」駅下車、川沿いに南へ徒歩8分）
料金／3500円　利き酒付（和服の方は3000円）
チケット申込み／神戸酒心館
神戸市東灘区御影塚町1・8・17
☎078・841・1121

若手狂言師善竹隆司・隆平兄弟

2006年兵庫国体愛称・標語を募集

平成18年（2006年）に、兵庫県下全域を会場に、第61回国民体育大会（兵庫国体）が開催されるにあたり、愛称・標語を募集。兵庫らしい愛称、国体のキャッチフレーズとなる標語を、ふるって応募しよう。ちなみに前回の岡山大会の愛称は「晴れの国おかやま大会」、標語は「あなたがキラリ☆」。

応募期間は2月1日〜3月15日。賞金は愛称、標語とも最優秀賞1点10万円、優秀賞3点2万円。住所・氏名・年齢・電話番号・職業・性別・考えた愛称（必ず「国体」の文字を入れる）・標語と簡単な説明を記入し、ハガキ、FAXまたはEメールで（愛称・標語どちらかひとつでも可）。

■送り先・問い合わせ先
〒650・0004神戸市中央区下山手通6・1・1
第61回国民体育大会兵庫県準備委員会事務局
☎078・341・7711（内線8221）
FAX078・362・3969
（e-mail）
kokutaiyunbikyoku@go.phoenix.pref.hyogo.jp
URL http://web.pref.hyogo.jp/kokutai/

大会を盛り上げる愛称・標語を一般募集

誕生日ありがとう運動

大人の宿題

初暦　知らぬ月日は美しく

少女時代に、そのロマンに浸り空想をめぐらせながら読み耽った小説などの作家が、ずいぶん前、テレビの対談でこの句を披露されたのを聞き、妙に感じ入ったものです。以来、新年を迎える度にこの句が浮かんできます。

新しいこの年も、そして二十一世紀もどうぞ美しく祈るところですが、このところ気になることが多すぎます。

先だってもテレビで教育改革をめぐっての論議がされている中で、「中学で全員車椅子に乗る体験をさせたらよい…」と一人の方がおっしゃっていました。体験すれば人の痛みがわかる、と。そうでしょうか？

福祉の原点は「他者への思いやり」。私は想像力とやわらかい感受性が何より大事だと思われてなりません。そして、その実践の場は日常生活そのものの中であり、その中でこそ培われていくものだとも…。

幼い時はみんな豊かにもっているこの二つの芽ばえを、成長とともに現代の生活環境は、押さえゆがめて、十分な育ちができていないように思われてなりません。大人への宿題、真剣にとり組まなければ…。

—U

誕生日ありがとう運動本部
〒650・8790
神戸市中央区中町通4・2・11
村上ビルB1F
TEL&FAX078・360・1257

本物の映画はここから生まれる「インディーズムービー・フェスティバル・サミット」開催

1996年「independent：独立の、他に影響を受けない、自由、自由な発想で」という信条のもと、「インディーズムービー・フェスティバル」がスタート。自主制作映画を募集し、優秀な作品をビデオ化、一般のレンタル回数ポイントやインターネット投票により、次回作のバックアップを受けられる監督・制作者を選出するという、まさに観客の観客による観客のための自主制作映画祭。その集大成である「インディーズムービー・フェスティバル・サミット2001」のプレイベントが、大阪・福岡・ソウルで開かれる。第1回フェスティバルグランプリ受賞者・北村龍平監督のIMF資金援助制作作品『VERSUS』のプレミア上映や、津軽三味線アーティスト・吉田健一のスペシャルライブも行われ、アジアのフィルムメーカーたちのパワーがさく裂する！

完全インディーズ体制で制作された、北村龍平監督『VERSUS』

●インディーズムービー・フェスティバル・サミット2001大阪
とき／2月16日（金）午後7時開演
ところ／御堂会館（大阪市中央区九太郎町）
料金／3000円
■問い合わせ先
東京都港区六本木3・17・10四明ビル6F
インディーズムービープロジェクト実行委員会
☎03・5549・9205
http://www.the-indies.com

ヴィッツのつぎはアレックス？

最近の車の流行は小型車かと思われるほど、合理的で使いやすく、小さくてかわいい車を街中でよく見かける。大ブレイクしたヴィッツは、これからの時代の主流車になるだろうが、ちょっと小さいと感じる人にぴったりの新車が、ネッツトヨタから1月24日に発表、発売された。

アレックスは、大人4人がゆったり乗れるスペースをもつにもかかわらず、セダンタイプと比べ小回りがきき運転しやすいのが特徴。内装に力をいれているトヨタならではの、上質な仕上がりと、ステーションワゴンにも負けない収納スペース、20度のリクライニングは後ろの人もゆったりと乗れるリアシートリクライニング、ドライブ中にちょっと休憩してお茶ができる便利な助手席シートバックテーブルが付いていたりと、車内がプライベート空間になってしまう嬉しさを兼ね備えている車といえる。1・5ℓエンジンと1・8ℓエンジンの2種、1・5ℓのみ4WD。詳しくは次号で紹介。

■問い合わせ先
ネッツトヨタ兵庫株式会社
神戸市中央区栄町通7・1・3
☎078・371・3137

あの「アクタス六甲店」も復活オープン。東部副都心「サザンモール六甲B612」

国道43号線沿い、東部副都心の南端に12月16日オープンした複合商業施設「サザンモール六甲B612」。震災から6年を経て、六甲のランドマーク的存在だったあの古いレンガ造りのアクタス六甲店も新しくなって元の場所に帰ってきた。モールは全8店舗。システムキッチンから子供部屋までモダンライフを提案する「アクタス」を中心に、「Vis」「クララ・コンフォーツ」といったインテリア・雑貨ショップ、ガーデニング・フラワーショップ「ボン イデ デュ ケイズ」、他に「ハーレーダビッドソン神戸」、車を巡るあらゆるグッズを集めた「ル・ガラージュ神戸」、カーショールーム「ピット・アイ」など、憧れのライフスタイルがいっぱいつまったおすすめのスポットになっている。

まさに大人たちの遊び場「サザンモール六甲」

■サザンモール六甲B612
神戸市灘区新在家南町1・2・1
☎078・841・8184

KOBE POST

★映画監督・大森一樹さんの住所が変わりました。〒659・0074芦屋市平田町4・1TEL／FAX0797・34・3156「あなたの人生案内」平凡社（〒1500）発売中

★神戸華僑総会名誉会長の林同春氏は、神戸市より「産業功労者賞」を、兵庫県より「諸」の賞を受賞。〒650・0002中央区北野町2・7・18TEL231・5690

★細見成男・恭子夫妻から新居のお知らせ。〒658・0003神戸市東灘区本山北町3・3・24・105TEL／FAX078・441・0309

★（有）ダンスウェストの西尾旨香社長より、国際バレエコンクール準備のため事務所開設〒531・0071大阪市北区中津3・29・35オープラン中津206号TEL06・6377・2403

★劇団神戸の夏目俊二・小倉啓子夫妻、2月24日「薄墨の桜」（神戸文化ホール）の公演。〒652・0897兵庫区駅南通5・2・3・1403TEL672・8898

★須磨琴保存会の小池美代子さんから、2月23日神戸文化大ホールで「神戸21世紀・復興記念公演」を開催お知らせ〒654・0071須磨区須磨寺町4・6・8

★アートサロン「クリスタル神戸」柏木宣裕氏より。1月9日（火）～2月10日（土）〝独楽の画家・熊谷守一展〟開催〒650・0044中央区東川崎町1・1・3神戸クリスタルタワーB1TEL078・366・0318

★〝楽しい書〟をめざす高砂京子さんが、高砂会を発足・月刊誌「楽」発刊・第1回高砂流書画会員展を1月13日（土）～20日（土）神戸ポートピアホテル・ギャラリーで開き、記念パーティーも盛大に。〒655・0854垂水区桃山台2・118・23あとりえ紙内・高砂会事務局

★いけばな池坊の諏訪頼子さんから、芦屋支部青年部10周年花展を、神戸国際会館11Fコミックギャラリーで2月11日（日）、12日（月）に開催とのお知らせ。

■連載小説 第8回

異端の薔薇

中谷 衣里

「どうなさったのですか。お義母様」
義母の動揺し切った様子に、さすがの岸子も何が起こったのかと胸騒ぎを感じていた。
「これ、これですよ。目を通してください。早く！　ご覧なさい」
朝刊を震える手で渡し、義母の指差す所に目を止めた。見る間に蒼ざめる岸子。そこには大きく、あの室田夫人と二人の女の子の写真が載っていた。
義母から新聞をひったくらんばかりに取り上げる岸子。走る目線を新聞に向けた。三人で車の中に排気ガスを引きこんで、山中湖で死を選んだ記事だった。見出しには、
「夫の借金と浮気に、二人の女の子を連れ、車の中で心中！」
と書かれてあった。
岸子は脇の下から汗の流れるのを感じ、震えるのが止まらなかった。あの室田夫人が…。細い指に上手に煙草を挟み、優雅に吸っていたあの横顔。
「主人の実家に行きますのよ。すぐにお手紙したためます」
笑顔を残して去って行った夫人。ご主人とは別れられなかったのだ。
記事によると、食費も入れられぬとのことだった。順調に見えたがご主人は賭け事が止められず、室田夫人の苦悩も水の泡と消えたのだ。借金を重ね続けた夫は、結局はお金のため年上の女性のところに走ったという。お金の苦労は我慢できたとしても、年上のお金持ちの女性に走ったご主人を許すことは、あのプライドの高い室田夫人のこと、決してできなかったのだろう。
岸子は我が事のように思えてならない。岸子自身も、拓也の女性問題に疲れ果て、十キロ近くやせ細った時期に室田夫人に会い、同じ苦い傷みを見つけ、夫人はもうこの辺で主人とのことは忘れようと、気の進まぬご主人の故郷に行く決心をしたのだろう。
そこまで尽くしたご主人に、今度はお金のある年上の女性。もうぎりぎりのところに室田夫人の精神はこなごなに砕かれ、もうマドモアゼルのところにいることさえ苦痛だった。そこで自分と同じ苦しみをもっている岸子をマドモアゼルに推薦してくださったのだろう。
岸子が一度精神の病から救われたかに見えたそんな時、あの体育会館で室田夫人に会った。小雨の降る昼下がり。
今、岸子が義母や山中先生、あの方たちに救われ、再出発したというときに、室田夫人が人生に終幕を下ろすなんて。可愛い盛りの女の子二人を道連れに、余りにはかなく悲しい！
もう、岸子は椅子から立ち上がることさえままならぬくらいに、動揺していた。鮮やかに室田夫人の笑顔が思い出され、声までもが聞こえるような幻覚に襲われた。
蒼ざめた表情の岸子は、お屋敷に足を向けていた。
あそこなら今のこの気持ちが納まるような気がしてならなかった。あの前中、妙子、老紳士の谷田、そしてマドモアゼル、あそこへ行けば室田夫人の想いを実感できるのではと思った。
お屋敷に着くと、やはりあの静かな谷田と妙子が険しい顔をしていた。優しい前中は、泣き出さんばかりの顔を隠そうともせず、迎えてくれた。いかに室田夫人が愛され、彼女がマドモアゼルに対して努力したのかを話していた。ここに来て新たな悲しみが岸子を襲った。
あの妙子が、ガラスの人形を指差し、あれが室田夫人の一番のお気に入りで、誰にも触らせず、熱心に手入れをしていたと言った。岸子はトイレに突然駆け込んだ。岸子は少し泣いた。
室田夫人の笑顔を想い、また泣いた。もっと彼女の胸の内を深く探り、力になれたのではないかと、心の疼きが込み上げるように泣いた。
その午後、マドモアゼルが新聞から目を離し、少し間を置いて、溜息を大きくつかれ、
「あの人、ほんとうにお可愛そうなことだったわね」
しわがれ声をさらに低くして、呟くように、
「結局、自分の人生を棄てたのね。可愛いお嬢さん二人も連れていったのね。どんな将来が二人の子どもに待っていたか。もう少し考えていればこんなところまでも、追い詰められなくってすんだのに」
「ほんとうになんと申しましょうか、お屋敷はこのお話で持ち切りでございます」
「そうなの」
彼女はおもむろに、眼鏡を外した。上目使いに岸子を見た。思わず岸子は目を伏せた。何故伏せたのかわからずにいた。
「あなた、岸子さんも仲良くしていらっしゃったのでしょう」
「は、はい。とてもよくして頂いておりました」

「そうなの。あなたも自分の人生に負けてはいけませんよ。よくって」
強い口調。
「はい、よく理解しております。心しておきたいと思います」
「そうね」
彼女はまた、何事も無かったかのように、再び新聞に目を移した。やはり広い心の方なのだと思わずにはいられなかった。
あの室田夫人が熱い想いを込めてマドモアゼルのことを語った一言。
「とても心の暖かいお方、広い心のお人でいらっしゃる」
あれはいつ頃の事だっただろう。まるで昨日聞いた言葉のように、岸子には思えてならなかった。
それから、マドモアゼルは何事も無かったかのように、いつものマッサージ室に静かに消えた。
岸子は彼女の後姿を眺めて、ぼんやりとこの老女のことをもっと深く知りたいという思いにかられ、熱いものが込み上げるのをどうすることもできなかった。
しかし、このお屋敷の住人は、誰一人として彼女の個人的なことに、一切触れることはなかった。それ故、余計に心が傾き、そうすることでここに永く居られないこともよくわかっていた。
妙子が岸子の心の動きを見て取ったのか、
「岸子様、マドモアゼルのことはあまり詮索なさいませんように。それがご自分の身を守ることになるのですから、心しておかれるとよいでしょう」
「はい。よく解っているつもりでおります。お心遣いはほんとうにありがとうございます」
「それじゃいいんですけれどもね。このお屋敷の人達は、もう何十年とマドモアゼルに仕えていますが、誰一人として波風を立てたものはいないということを忘れないように、頭に入れておくことです」
「はい、充分に承知しております」
それだけの会話だったが、妙子は何故か、岸子の傾きまでも理解する恐い女だと感じられた。これほどの人物でないと、やはり何十年とマドモアゼルにお仕えすることは、難しいのだと新たな想いに耽った。妙子にしても、前中にしても、みんな何故かここの住人すべて、同じ香りのする、人には言えない過去を背負っている人間の集まりだと、今更ながらに思う岸子。

室田夫人のお葬式は、夫人の郷里、高知で行われた。土のにおいのする町、何とものんびりと人々が暖かく心安らぐ処でもあった。夫人の実家は想像を絶するほどの素封家だったのには驚いた。
たくさんの土地を持つ祖先からの名士であった。祖父はその土地の誰もが知る政治家。父は学者であったことに、岸子は驚きを隠せなかった。祖父の政治家としての活躍を影で支えたのは誰あろう、祖母の美代だと知る。
式の中で、一番肩を落とし、悲しみに暮れているのはこの祖母ではないかと岸子は秘かに思った。室田夫人は、女ばかりの四人姉妹で末娘だとのこと、他の二人の姉妹はそれぞれかなり身分のある夫を持っていた。
何故室田夫人だけが、という思いに耽った。その土地の人々の話を聞くともなく耳にしたのは、室田夫人は、東京の有名な医学部を卒業しているということ、あの夫人が結婚相手として選んだ男はこともあろうに、中学を卒業してバーテンの修行をしている時に、客としていった夫人に目をつけ、二人は恋に落ちたということだった。
相手のことを詳しく調べた両親の反対は言うまでもない。賭け事に明け暮れる母親。父親は誰とも知れず。幼い頃より施設に入れられ、施設の毎回の食事までも、周りの子供たちに賭けさせたということ、施設においても問題児としてあちこち回されたが、彼の癖はいっこうに直らず、施設を出て工員の寮に入ったが、そこでも同じ生活だったようだ。
職を転々としながら、行きついた先は十九歳で水商売のバーテンの仕事だった。魚が水を得たように、そこには彼の世界があった。食事よりも賭け事をする相手がところかまわず居たということ。
そこに大学生だった室田夫人がコンパの帰りに寄った。夫人の人生はそこからが闇だった。初めての男だった。彼に尽くし、そのまま彼の安アパートでの新婚生活。考える間もなく、長女が生まれ、生活も荒んでいったのは言うまでもない。
そんな娘をほって置けないと、子供を引き取る高知の両親。夫人も生活費に身体を売るところまで落ちたが、また子供をもうけてしまった。いくら両親が口をすっぱくして別れるように勧めても、何とか彼を救い、まともな人間に更正させようとする夫人。別れられないと離さない男。両親からの仕送りも、男の賭け事の金に変わっていったことは、言うまでもない。
これまでと諦めたのは、夫人ではなく両親だった。そこまでしても別れぬ娘に不憫は募り、彼の賭け事の金になることを十分に承知しながらも、生活費を送りつづける両親。あわれなのは、後に出来た二人の女の子達である。両親の働きに出る日は、手をしっかりと握り合って、母親の持ちかえる食費だけを待つ哀れな幼子。
子供ができたとわかっても、高い教育を受けた夫人には、先にこの子がどうなるかは承知だが、堕ろしてしまう費用さえ男はむしり取るようにして持ち出した。周りの皆はそこまでされて、どうして別れられぬかと不思議でしかたなかった。
ただ、男は止められぬのは賭け事だけで、夫人を深く愛しとても優しかった。いつも金を持ち出した後に、
「悪かったね。こんなに苦労させてしまって、止めよう止めようと心は叫んでいるのだが、どうしてもこの癖は止まってくれないんだ」
すまなさそうに夫人の前で手をついて謝る、そんな男に、
「いいのよ。一度の人生ですもの。あなたの好きに生きてください。私は何処までも地獄の果てまでもついて行きますから、心配には及びません」
この会話が何度繰り返されたことだろう。時には主人についてパチンコや麻雀にも付き合うありさま。
しかし、男は家で洗濯や食事の支度までもしている子供たちには常に優しかった。
どうしても別れられず、こんなにも深く愛され、かまってくれるはじめての男との生活。お金さえあればどのようにでも生きて行ける夫人は、水商売までもして男にお金を渡しつづけた。果てはもっと身入りのいいソープまでもと考える始末。
男は愛する女にそれだけは許さなかった。休日に末の二人の娘を連れて公園で遊ぶ姿は、側から見れば仲のよい家庭に写っていたことだろう。
これでも夫人には充分に幸せだった。働く男、だがお金は賭け事に消えた。まじめに夫人の作るお弁当を持ち、酒も煙草もやらずに、ただ唯一賭け事だけが人生の男だったのだ。

■中谷衣里さんが以前より所蔵している石阪春生画伯の作品を使いました。写真・後藤洋治郎。

それを知っての上で、夫人は、実家と絶縁されても別れはしなかった。それどころか、周りの反対の声を払いのけて、男に情けをかける結果になってしまっていた。

次々にできてしまう子供を堕ろす金もむしり取っていく男に、何も言わずにいる夫人。

悲しくなったのか、そうではない。心の中ではいつも叫び声を上げていた。だが、別れられない。別れようとしない。

いつ逃げようかと怯える男の切ない心までもが、夫人の愛に重なっていたということか。だが、やはり持って生まれた気質があり、どんなに困っても男と自分はいつもこざっぱりとした洋服を着、子供にも着せていた。どん底の生活の中にも持って生まれた気品は残っていた。

周りは、この異質な家族に首をひねった。

高知の里では、上の女の子を育てながら、母と祖母は食べるものには困らぬようにと毎日のように食品を送りつづけ、父と祖父にいたっては、泡と消えるお金を送りつづけたということだ。人前では絶縁したと言っても、他の娘と同じように、いや！　幸せに暮らす娘よりもそれ以上に、あわれな娘に情けをかけないわけにはいかなかった。男が使ってしまわないように、内緒で家主当てに送金をしていた。季節の変わり目には、子供は勿論のこと、男の衣服までも送る始末だった。

いつも送られてくる夫人の礼状には、いかに男が優しく接してくれるかが面々と綴られ、それを見て涙に暮れる、祖父母と両親が居た。

こうして生活は続くのであった。

運命は見放さなかった。夫人の言う心の広い、優しい心を持つマドモアゼルに出会うのである。夫人が何も口にせずとも、すべて調べ尽くしたマドモアゼルは、夫人を雇った。

室田夫人の人生に輝きが戻った。だが、それが原因かどうか解らぬ。男は家を出たのである。まだ初めのうちは一週間に一度、そのうちに一ヶ月に二度しか帰らなくなった。その度に夫人に詫びる男。そこで許す夫人。そんな生活が続いた。

男は妻がマドモアゼルのところに行き、日増しに輝きを増していくのを眩しく見つめ、もうこれ以上は愛する妻を苦しめることに忍びなかった。

男は、年上のそれも二十も歳の離れた女に走った。

そこでは何に気を使うこともなく、愛する妻の愁いに包まれた瞳を見ることなく賭け事にまた一段とのめり込んだ。相手の女にしても、お金に不自由はなく優しい年下の男を得て幸せそのものであった。

男が帰らなくなり、夫人は苦しみの中、里にいる長女を呼び寄せようとしたが、長女は大好きな祖父母の傍から離れようとはしなかった。

室田夫人はマドモアゼルの人間的な魅力に包まれ、幸せな日が来たことを喜び、精一杯マドモアゼルに仕えたのだった。そんな室田夫人を可愛くないはずもなく、マドモアゼルはより以上の愛を惜しみなく室田夫人に与えたのだ。そんな時に、岸子が室田夫人の目に止まり、マドモアゼルに紹介されたのである。

室田夫人はもう帰らぬ男に疲れを感じていた時期にあった。もう昔の自分じゃない。人生は終わったようなもの、夢や苦しみを友達にして、危ない綱渡りの人生に終幕をと、もう昔の愛は泡と消え失せた。

いつも思い出していた。忘れはしなかった。やさしかった夫。夢破れた辛い夜を重ねていた。

一人で眠る夜も、もう恐くはなかった。寂しい家だったが、二人の娘たち。実家に残した長女に希望があった。

思い出していた。再び二度と帰り来ぬ夫との楽しい日々を。私は夫をなくした。誇りを持ちながら嵐の中へと消えた夫は男らしかった。二人を離さない夜明けの太陽、今もまだこの身を灼きつづける夫、もう帰らぬ夫との夢は破れ、後は死への旅立ちしかなかった。

マドモアゼルのことは、岸子に託し、もう思い残すことはなかった。二人の娘を連れ、実家の祖父の持つ別荘へと車を走らせ、別荘の近く、車の中で事切れたのだった。美しさよ、さようなら。別れも告げずに私はあの愛する男を見捨てるのか。

二人の愛は芝居の一幕だったのか。やがては月日が変えてくれるだろう。彼は未だに賭け事に身を焦がしていることだろう。それで幸せなら、私などいなくても彼の人生は、これからも変わらず続いていくのだ。

この別荘のそばの山中湖の暗い月明かりの下が、私には一番似合う死に場所だろう。

あれは私の花の季節だった。化粧もせずに素顔のままで、風に髪をなびかせて、周りにはいつも若い友がいた。私の名を呼び寄せたのはあの夫だった。誰か私に叫んだ男、それはあの愛しい夫だった。旅の用意ができたのよ、あなた。

二人の娘と一緒に。美しさはこの化粧の下で私を一層美しくするだろう。

私は旅をする度に美しくなり、恋を失う度に美しさは去ったのよ。なぜあなたはこの私を残して、あの年上の女のところに行ってしまったのだろう。

最後の旅立ちが終わった時、夜明けのあなたはあの年上の女の家の中の鏡を全部割ってしまうことでしょうね。もうあなたとの二人の旅は終わってしまったのだから。私の主人、私のものだった美しさ、あなたは言ってくれるでしょう。きっと永遠にさようなら、愛する妻と。

すまなかったと言ってくれるでしょう。何も残さずとも、あなたは私のこの心をわかってくれるでしょう。

岸子は、なんと室田夫人は美しく死んだのだろうという思いに浸っていた。拓也の浮気ぐらいで神経を病む自分の甘さにしみじみと後悔に似た気持ちでいっぱいだった。

この岸子の悲しみより、もっと深い悲しみにくれるもう一人の女性、その人はマドモアゼル。深い人生の旅をして、またマドモアゼルには痛いほど室田夫人の苦悩を理解していたに違いなかった。だから、誰よりも室田夫人が可愛かったのだ。そのマドモアゼルは岸子の席のすぐ前で、黒いレースのベールに包まれた顔を深く曇らせ涙していた。時々震える手を両手で押さえ、スワトーのハンカチでベールを上げ、目頭の涙を拭きつづけているのがわかった。

前中が心配そうにマドモアゼルの様子をうかがっていた。そばには冷たい横顔の妙子がいた。さすがの妙子も室田夫今の私に一番似合う。

あの主人と、太陽のきらめきと戯れながら、湖畔を走っていた若い私。あれがこの私だったとは。男の優しさが私を酔わせた人生だった。笑いながら恋に誘った男、美しさは残り香もなく、夜明けと共に年上の金持ちの女と何処へ消えたのだろう。

人の人柄に魅せられた一人だった。今はその凍る顔は赤味を帯び、一筋の涙を流しているのも岸子には新しい発見のように写っていた。

遺影の室田夫人は、幸せそうな微笑みで涙する参列者に別れを告げていた。夫人にはこの人生の旅が、人々が考えるほど不幸ではなく、情けのある、賭け事好きな男に出会って幸せに輝いた人生だったのだ。三人の幼い女の子には、ほんとうにすまないと思っている微笑が伝わってきた。それが参列者の涙を一層誘っていた。

母親にいたっては、立っていられるどころか、もう崩れるように座り込んで、涙の海に体をうずめていた。政治家だった祖父は、きちっと両手を膝に置き、身動きせずに不幸な娘と、孫たちの遺影を睨むように唇を血の出るほどに噛み締めていた。

それがまた参列者に新たな悲しみを与えていた。何故あの男だったのか。東京の大学に入れたこと、そこで巡り会った男に、何故に魅入られたのか、誰も想像を絶する思いに違いなかった。

しめやかに、室田夫人の悲しみのように、いつしか小雨が遺体を待つ黒い霊柩車を濡らしていた。

三人の幼い女の子のうち長女は、こんなことがどうして起ったのか理解できぬ間に、曾祖父や曾祖母、祖父や祖母のそして母の姉妹達の悲痛な悲しみの涙に誘われるように、母や妹の名を呼んでいた。

そこでまた参列者の中には声を上げて泣き叫ぶものもいた。だが遺影の室田夫人は幸せそうな微笑を写真の中から参列者に投げかけていた。今いずこにいるかも知れぬ愛する優しい、室田夫人に死の思いをさせた男の姿はあるはずもなく。岸子はまだ見ぬ室田夫人の愛する夫に対して、心からの憎しみを思った。

お葬式の終わった後に、マドモアゼルは室田夫人の家族と少し話をしていた。最後にマドモアゼルは、たった一人残された長女の頭を優しくなぜながら、かがみ込むようにして、大切に持っていた紙包みを密かに渡しているのが見えた。その少女は小さく頷きながら、何度も何度も目にハンカチをあてているのが印象的であった。

野澤和子「少女」

帰りの車の前で皆がリムジンに乗り込もうとした時だった。

「前中、帰りは岸子さんと二人だけにしてほしいの。あなた達はそちらの車で帰ってくださる」

言うなりマドモアゼルは岸子の手を取った。妙子が睨むように射る目を岸子に向けたが、マドモアゼルはそれを無視するかのように、強く岸子の手を再び引いた。

二人は大きなリムジンに乗った。

車が動き出すと、マドモアゼルは急に大きな声を張り上げて泣いた。岸子は黙ってマドモアゼルの涙の終わるまで辛抱強く待っていた。

いっとき泣くだけ泣いたマドモアゼルは、ハンドバッグからコンパクトを出して化粧を直していた。そこには今までに見たこともない、若々しい一人のマドモアゼルがいた。

「ごめんなさいね。あまりに室田さんが哀れに思えてね。でも考えてみると、彼女は誇りを持った立派な女性だったと思うの」

誰に言うでもなく、独り言のように呟いていた。

岸子もただ黙って賛同の頷きを自然にしていた。

おもむろにマドモアゼルは、バッグから細いメンソールの煙草を取り出し、あまりおいしそうにではなく、煙をただ吐いているように見えた。

灰皿に吸殻をもみ消す手が、少し震えているのがわかった。

「あなたも吸えば」

「いいえ、私はいただきません」

「そうなの。そうだったわね。室田さんに煙草を教えたのは誰あろう、この私ですよ。彼女はこの世にこんなにおいしいものがあるとは存じませんでしたと、微笑んだの、まるで昨日の出来事のように思えますよ」

「そうですか。私もいつか室田夫人と御一緒のときに、青みがかった細い白い手に煙草を挟み、おいしそうに吸っておいでした。その時も私に勧めてくださったのですよ」

「あらそんな想い出があるの。これからの何時間かの帰り道は二人で室田さんの話をして、彼女を偲びましょう。彼女もきっと喜ぶと思うわ。そうでしょう。私にアナタを推薦したのはあの人ですものね。あの室田さんとはいろんな想い出が山のようにあるのですよ」

「そうでしたか」

「行本。帰り道は急ぎません。ゆっくり運転していいのですよ」

「はい、かしこまりました」

行本と呼ばれる運転手は岸子には初めて会う人だった。

「でもマドモアゼル、後に続く車が気になりますが…」

「そうね。先に行くように指示しなさい」

「はい、そういたします」

行本はスピードを緩めた。車を路肩に止めて、妙子が用意したであろうポットを机に出した。熱い紅茶がロイヤルコペンハーゲンのカップに入れられ、二つ並べられた。

「どうぞ…」

「ありがとう。岸子さんも飲みなさい」

命令口調はいつものマドモアゼルに戻っていた。

「はい、いただきます」

「こんな悲しいときには、熱いダージリンに限りますよ」

「そうですね。私の父もよくそう申しておりました」

「あなたには室田さんの二の舞いにはなって欲しくありませんよ」

「はい、よく承知しています、マドモアゼル」

「結婚なんて好きな人ができれば何度してもいいのよ」

「え！」

マドモアゼルは続けて驚くことを喋り出した。

〈つづく〉

中谷衣里（なかたにえり）
神戸市生まれ。神戸のトアロードと北野町に〝サント・ノーレ〟（フランス料理と音楽の店）を永年営業する。阪神大震災に遭い一時期声を失う。ペンネームにて雑誌や新聞のコラム等に発表していたが、本格的に作家として執筆活動に入る。

今回の旅の舞台は「飛鳥」

明石海峡大橋をくぐる

海船港

「飛鳥」秋の四国一周クルーズに参加して

名探偵浅見光彦と行くミステリークルーズ

田中正郎（サンヨー環境株式会社取締役会長・健康住宅推進協議会理事）

美しい瀬戸内の海をゆく

内田康夫先生御夫妻を囲んで

私の家族6人と友人夫妻の8人のグループが、11月3日から5日まで飛鳥に乗船した。

今回のクルーズはミステリークルーズとして名探偵「浅見光彦」こと辰巳琢郎氏と作家の内田康夫ご夫妻が乗船されていた。

ファン・クラブの方も大勢参加、そして一般の方も連休とあって、乗船率は100%。

神戸港からの出港セレモニーは横浜にくらべて、いつも寂しいのに今回はデッキが満員であった。神戸市消防音楽隊の賑やかな演奏のなか色とりどりのテープが飛び交いドラの音も高く、シャンペンやカクテルも配られて華やか。これでなくては、世界の神戸港の値打ちがない。

蛍の光の演奏が始まると船はいつのまにか岸壁を離れていた。

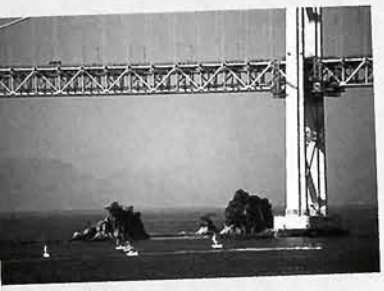
出港後すぐに昼食がはじまり、和食は5デッキのフォーシーズンダイニングで、洋食は8デッキのリドカフェでおこなわれた。

出港後40分もすると左手に淡路島右手に鉢伏山が見え、明石海峡大橋をくぐりぬけるときにはデッキは大勢の人であふれていた。世界一のブリッジはさすが…。

その内船内では若い人達や子供達による消えたエメラルドと怪人ルパンからのメッセージで「飛鳥」はミステリアスなシアターになった。ミステリー手帖や船内地図を片手に船内を走り廻って大騒動。

足摺岬

瀬戸大橋は圧巻



11月3日誕生日の小坂さんご夫妻を囲んで（後列左端が筆者）

→辰己琢郎名探偵

ディナーは乗船人数が多いため二部交代制になり、17時30分からと19時30分からとに別れて食事を始めた。

11月3日文化の日は、友人の小坂さんの誕生日でもあり豪華なフランス料理を目の前に奮発してシャンパンで乾杯した。

バースデーケーキも用意してくださっていて、ハッピーバースデーの歌を皆で歌い、とても楽しい初日だった。

飛鳥は17時頃より小豆島の南に投錨。仮泊し翌日4日の5時頃抜錨。7時頃瀬戸大橋を通過。16時20分頃佐田岬通過。至れりつくせりの四国一周クルーズの3日間であった。

啓介いろは歌

〈近思録いろは道歌（朱子学）〉

その34

今井啓介
〈今啓パール㈱社長〉

い 生き生きと目標大きくかかげたらおのが力量はかりて進め

ろ 論語読み弟子が孔子に質すよにわが耳孔子の声聞くつもりで

は ※（程明道） 反省心それができたらそれでよし心切りかえ次に発想

に 人間は読書で人生学ぶもの活学に聞け聖人の声

ほ 本を読み学んで習得要約を多読するより熟読にあり

へ へらず口話題豊かに出るよりも口だけでなく企画を頭で

と ※（程伊川） 時を待てあくせくしないで堂々と志もち恬然終身（※）

ち 知識人天地に願かけ国のため去聖の絶学（※）万世に太平

り 理想とは大きくそれたその時も小さなことでもコツコツとやれ

ぬ ぬかるみを歩く折には用心す平坦地でも細心注意を

る ルビをふる論語のことばの古さから新しき知恵見つける楽しさ

を 大らかな程明道は二元論天理万物一体を説く

わ 和の思想戦いの世も持つべきぞ論語に学べ和して同ぜず

か （程伊川） 学問や得ると得ざると心意気思慮沛然（※）ゆたかに実る

よ （程伊川） よい案やアイディア豊富にあるとても上に立つ人志ありてこそ成る

た （程伊川） 誕生日今亡き親に倍にして感謝の思いを届けとばかり

れ 歴史には困難患難教えあり古きに学び新道発見

そ （程明道） その気概勇気を持ちて学ぶべし人間力ぞ熱意と気迫

つ 付け刃浅薄稚才じゃ難しいけだし誠と素直は財なり

ね 狙い通り官位そこそこ地位ついた初心忘れずそのまま愚鈍で

な （程伊川） なんびとも人を動かすあたわずは吾が誠実の足りぬときなり

ら 楽しても目標設定失うな着眼遠大我が力量で

む 昔から学問大事と教えられやればやるほど高まる智欲

う 産まれ日に賑々しさや酒盛りて慶び唄にて思い届けよ

ね 異も大事違う意見の同志いて強い組織はトップの器

の 伸びる人毎日進歩新たなり進歩のないのは退歩と同じ

お （程明道） 大仕事そのことよりも細小事勤めできるかもっとも難し

く ※（張横梁） くよくよはいつまでもする無かるべし反省できたら心置きかえ

や 優しさは家風の中のしつけなり父の志操と母の愛情

ま （程伊川） 学ぶには読書があるが多読せず熟読要約自分でノート

け けいこ事習うことなど上達が進むがほどにハードル高し

ふ 風化など家風社風や国風も目には見えぬが肌身に感じる

こ この一事思いかなわず解けぬならしばらく別ごと換えて為しみよ

え 絵にもなる明るい文脈発言も家格社格口家の風格

て （程明道） 弟子たくさん書を習いても良い字とか技巧に走るな初志が大切

あ 明日の夢自分さがしの人物よ歴史に学んで志あり

さ さり気なく自己啓発にはげむこと進歩しないと退歩と同じ

き 近思録博学篤志問切は学んで質問身近が大切

ゆ ゆったりと程明道や伊川など横梁学んで近思録なり

め 目のやり場足の置き場に迷うとき論語を読むか朱子を学べよ

み （程明道） 見たところ目標大きく定めなば己が力量で一歩一歩を

し （張横梁） 社風には習慣習性治朝りてすなわち徳なり乱朝学ばず

ゑ 江戸時代徳川幕府は朱子学を理念に定め体制確立

ひ （張横梁） 人使い修業苦行のあることがすなわち気配りよく伝わるぞ

も 模倣から入って学んでコツコツとその心がけで大をなすなり

せ 性格のはっきりせしは程伊川理気二元論陰陽を説く

す 巣に寄るは動物ならば本能で人は集いて力を発揮

ん 運をもつ志と義と仁の集まりは人への役立ち伸びる集団

※程明道（兄）…天理万物一体論（一元論）※程伊川（弟）…理気二元論　※張横梁（ちょうおうりょう）…気一元論
※朱子…儒学の復興者（徳川幕府も応用）※恬然終身…静かなる様子　※去聖…物故聖人　※絶学…絶えゆく学問
※沛然…もやもやとした、ものが濡れた、雨の降るさま

Members' News

★ホテルオークラ神戸の2001年新春特別記念"2001年ランチ"

ホテルオークラ神戸の4つのレストランで、2001年を記念した特別ランチメニューが楽しめる（～2月28日まで）。価格はいずれも2001円（税・サ込）のサービス価格で、平日のランチタイムのみの限定。（11時30分～14時30分。「レストランカメリア」のみ11時～）ちょっぴり優雅なホテルランチを気軽にいただくチャンス。価格だけでなく、内容にもきっと大満足のはず！

●3階中国料理「桃花林」
サラダ風前菜から人気デザートまで点心、中華風どんぶりの充実コース

●1階和食堂「山里」
新鮮なネタがたっぷりの丼と3種類のバラエティ豊かな蕎麦のセットに茶碗蒸し

●1階鉄板焼「さざんか」
ステーキ以外に蛸と牛タンも楽しめるコース、そして食後のコーヒーもセット

●ロビー階コーヒーショップ「レストランカメリア」
期間中に替わるメインディッシュもお楽しみ

ボリュームも満点。「さざんか」の2001円ランチ

■ホテルオークラ神戸　TEL.078-333-0111（代表）

Information

★「神戸っ子倶楽部」では、ただいま法人・個人会員を募集しています。

■会費

神戸っ子倶楽部（法人会費）
月会費　一口5,000円（但し、年会費として一括お支払いの場合には、年会費60,000円のところ一口50,000円とさせていただきます）

神戸っ子倶楽部（個人会費）／年会費　10,000円

■特典

- 会費の一部を文化催事などへの招待、もしくは優待による参加費に充当します。
- 会員のみなさんの情報を「Members' News」のコーナーで紹介します。
- 毎月ご希望の冊数の「月刊神戸っ子」を月10冊を限度にお届けします。(法人会員のみ／個人会員は月1冊)

神戸っ子倶楽部法人会員

アサヒビール㈱神戸支社　淡路フェリーボート㈱　㈱アンヌーヴォ　今啓パール㈱　㈱オールスタイル総本社　㈱オフィス・ノイエ　カワノ㈱　キリンビール㈱神戸支社　神戸商工会議所　㈱神戸新聞社　神戸地下街㈱　㈱神戸鳳月堂　㈱神戸ポートピアホテル　㈱神戸マツダ　佐川急便㈱神戸店　沢の鶴㈱　タカハシパール㈱　田崎真珠㈱　東亜外業㈱　㈱ドンク　㈱みなと銀行　バンドー化学㈱　㈱ファミリア　㈱芙蓮道　㈱ホテルオークラ神戸　三輪運輸工業㈱　元町商店街連合会　UCC上島珈琲㈱　寄神建設㈱　㈱しゅんこう（順不同・平成13年1月18日現在）

★定期購読をご希望の方はご連絡の上、年間購読料6,000円を郵便局にてお振り込みください。

・郵便振替口座番号 01160−2−45196
・加入者名 有限会社月刊神戸っ子

■お申し込み・お問い合わせ先
㈲月刊神戸っ子「神戸っ子倶楽部／定期購読」係

SPECIAL PRESENT

〈応募方法〉ハガキ又はFAXに、希望商品名・〒・住所・氏名・年齢・職業・電話番号・「月刊神戸っ子」1月号の感想を明記の上、「月刊神戸っ子・2月号プレゼント」係までお送りください（締め切り日2001年2月23日）。なお、商品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

1.「神戸らん展2001」入場券ペア5組に（1600円×2相当）

恒例となった「神戸らん展」が今年も3月27日（火）～4月1日（日）までポートアイランドの神戸国際展示場で開催される。1万㎡もの会場に世界の蘭約5万株が大集合し、その美しさを競う「蘭の祭典」。直売店も並ぶショッピングゾーンも楽しい。

2. Language EXPO 2001 KOBE入場券ペア5組に（500円×2相当）

モデルのはなさん

3月10日（土）・11日（日）に神戸国際展示場で開催される「Language EXPO 2001 KOBE」。
語学・マルチメディア・留学・児童英語など"ことば"に関する最新情報が満載。モデルのはなやタレントの越前屋俵太をはじめ豪華ゲストの無料アトラクションなど見逃せない多彩なプログラムもあり。この春語学学習・キャリアアップの新しいアイディア最新情報がほしい人はぜひ。

読者のみなさんの身近なニュース、編集部へのご意見・ご感想をお待ちしています。
■㈲月刊神戸っ子　〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-13-3　建創ビル401
TEL.078-331-2246　FAX.078-331-2795

北野大散歩

西島一洋と「うどんの記憶」を語る

北野Pocket美術函

半分地下のような「北野Pocket美術函」

西島さんの作るうまいうどんも味わえた

多くのギャラリーが集まる北野に、8月にオープンした「北野Pocket美術函」。以前その地にあった瀬戸本淳建築研究所が海岸通に移り、瀬戸本さんの好意で新しいアートを発信する場所が提供された。

1月9日～23日、西島一洋による「体現／うどん記憶交感儀」が行われた。アーティスト・西島一洋が会場に寝泊まりし、24時間営業のうどん店を開業。きざみうどん、わかめうどんなど一品480円で注文を受け、鑑賞者はうどんを食べながら西島さんとうどんの記憶を語り合った。「食べ物には、個人、個人のさまざまな記憶がある。私はうどんを通して鑑賞者と交感する」と、西島さん。

実際うどんを食べながら西島さんと食べ物の記憶を交感した。西島さんは名古屋在住。実家がうどん屋をしていたこと、小さい頃は食い意地がはっていて、自分で作ったぎょうざを100個ほど食べ、胃弱になっていること。亡くなったおばが揚げていたドーナツを同じように作ることで、彼女を追悼したパフォーマンスのこと。いつしか話題は宇宙と地球への滅亡にまで発展した…。

うどんとぎょうざの記憶について語る西島さん

■北野Pocket美術函
（特定非営利法人リ・フォープギャラリー）
神戸市中央区北野町2-7-1
北野アーバンライフE
☎078-262-9140
http://www.assistem.com./riwfoap/

北野から中山手2丁目へ

パブ&レストラン Cat Hand（キャット ハンド）

「ノラ猫が好き」という永田稜子さん。「猫が嫌い」だった主人の幸雄さんが、猫を飼っていつのまにか猫にはまったというご夫婦。北野で開いていたBARを中山手2丁目の東神ビル地下に引っ越し、パブ&レストランを再開。70人の宴会も開けるスペースになって、ほっこり気分の猫好き大歓迎の店。

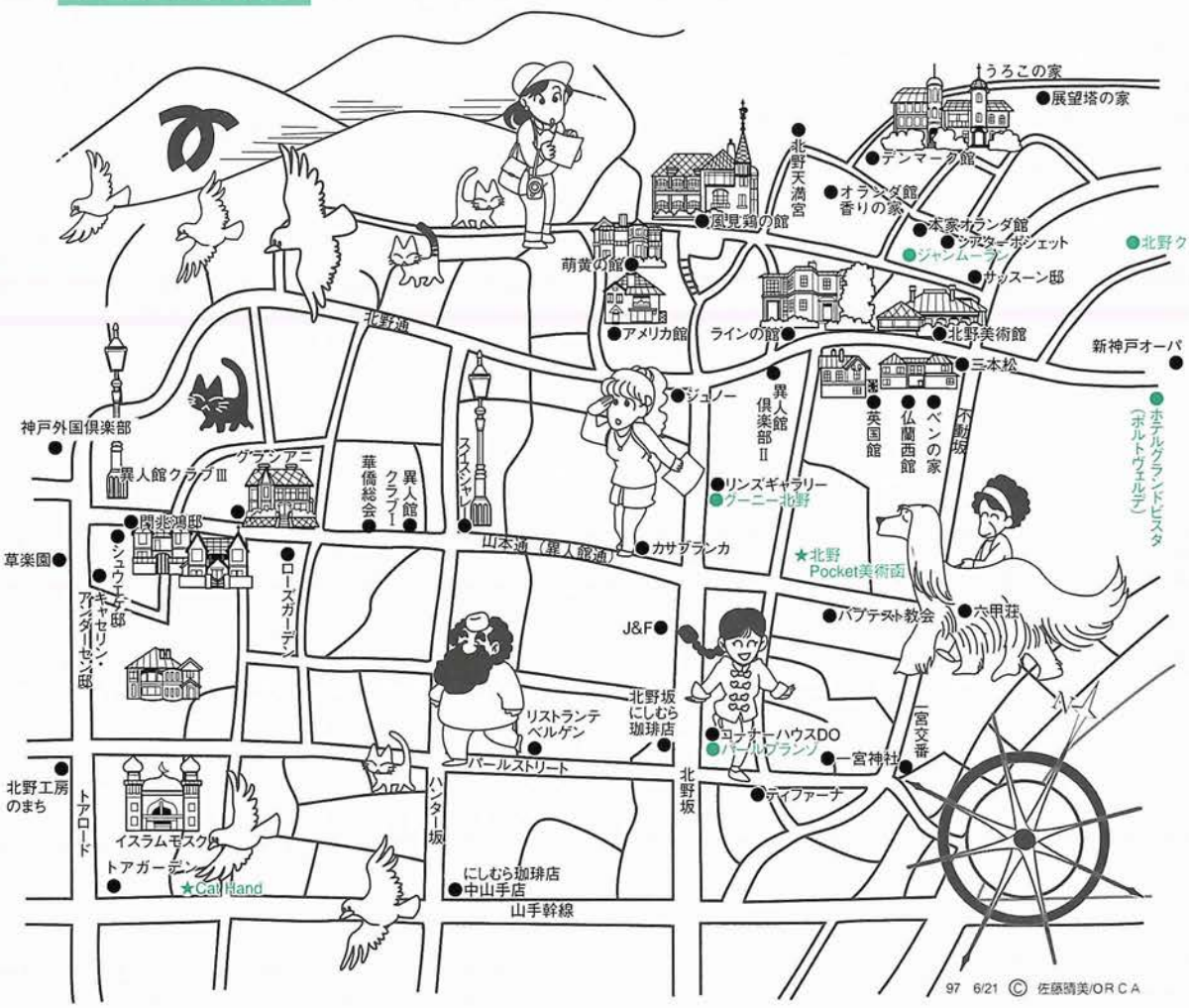
ホテルオークラ神戸の宴会係8年の幸雄さんと京町時代のオリエンタルホテルの「石庭」にいた稜子夫人、おもてなしは気楽だがゆきとどいている。ステーキハウス「A-ワン」出身の能勢健一料理長だから、味付けもしっかりおいしく、リーズナブルでボリュームたっぷりが嬉しい。猫のイラストが上手な稜子さん、猫コレクションがおもしろい。グラタン（850円）、豚のヘレパイ包み（850円）、コースは3000円・4000円・5000円（2名より）、宴会は3000円、4000円で飲み放題！生ビール500円～、コーヒー500円。

左より能勢シェフ、永田稜子さん、幸雄さん

■Cat Hand
神戸市中央区中山手通2-21-3
中山手東神ビルB1F階
☎078-222-3949
営業／17：00～翌2：00

坂のある町・散歩道

KITANO



★今回の取材先

北野おすすめSHOP

フランス料理

グーニー北野

神戸市中央区北野町2-7-18
リンズギャラリーB1F
TEL.078-242-2562

フランス料理

ジャン・ムーラン

神戸市中央区北野町2-16-8
TEL.078-242-4188 定休水
11:30～14:00 17:00～22:00

イタリア料理

Bar Planzo バール プランゾ

神戸市中央区山本通1-7-11
コーナーハウスDO B1F
TEL.078-231-8220

フランス料理

北野クラブ

神戸市中央区北野町1-5-7
TEL.078-222-5123
11:30～14:30 17:30～21:30

インターナショナルゾーン
レストラン

CASABLANCA CLUB カサブランカ

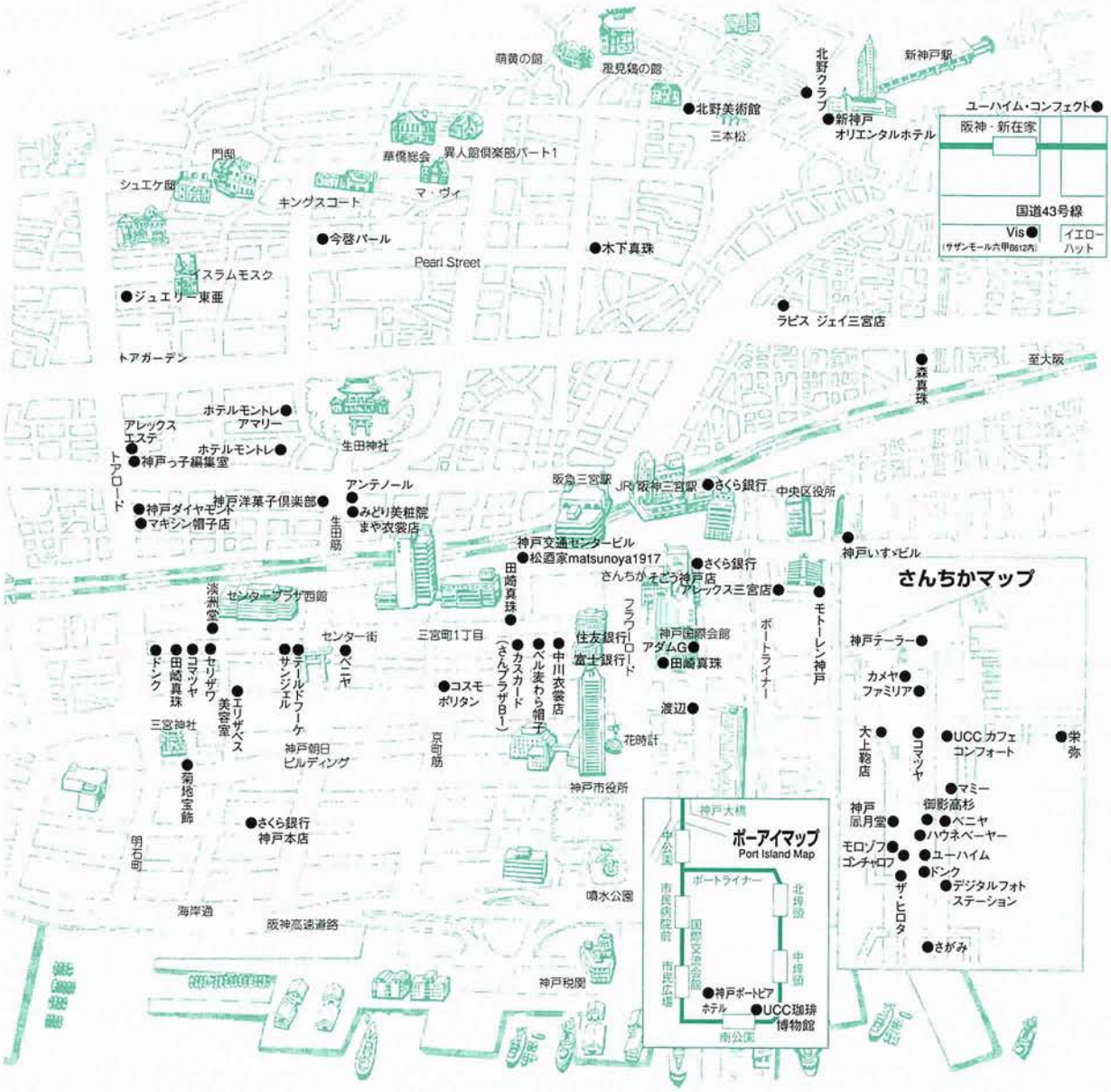
神戸市中央区北野町3-1-6
TEL.078-241-0200
FAX.078-222-0182

il PORTO VERDE NUOVA CUCINA

新イタリア料理 ボルトヴェルデ

ホテル グランド ビスタ 神戸・北野

神戸市中央区加納町2-13-7
TEL.078-271-2111



釣好きのアウトドア派の彼にドンクの「サーディン」を

ひと粒、ひと粒が手づくりの「ラ・フォンテーヌ・オ・ショコラ」のチョコレート。パリのサントノーレ通りから直接空輸されるから新鮮さはそのまま。人気の海のシリーズ、中でもイワシの形をした「サーディン」は、ユニークな形、エスプリのきいた贈り物として彼へのインパクトもバッチリ！

「サーディン」(缶入り)
¥1000
「サーディン」(量り売り)
100g¥550

可愛い！ ゴンチャロフ製菓の「ガナッシュチョコレート」

ピンクと紫の可愛い箱に3種のガナッシュチョコレートが詰め合わされている。モカにはカリブソコーヒー酒、ミルクにはナポレオンコニャック、そしてチェリーヒーリング酒にチェリー果肉入り。タイプもまったく違う3種だから、ひと粒ひと粒そっとつまんで食べていくのがとっても楽しそう。

「ガナッシュチョコレート」
(アンレール3)¥900(6個入)
「ガナッシュチョコレート」
(アンレール2)¥600(4個入)

KOBE 百店会MAP

★KOBE HIGH CLASS SHOP GROUP　神戸のハイセンスな専門店でお買物を！

- ●センタープラザ
- B1 ファミリーベル グランドカンパリー
- 1F ベル
- 1F ベニヤ
- 1F 大和屋シャツ
- 1F 芸夢
- 2F 装苑
- ●センタープラザ西館
- ●神戸ポートピアホテル
- B1 つるや衣裳店
- B1 三宮写真室
- 1F ファミリア
- 2F 田崎真珠
- ●さんプラザ
- B1 とんかつ武蔵
- B1 亀井堂
- B1 ゴンチャロフ
- B1 カスカード
- 1F モロゾフ
- 2F セリザワ
- 2F アレックス・パドゥドゥ
- 3F コマツヤ
- ●三宮ターミナルホテ
- 11F ベル
- 11F ゴンチャロフ

※地図の都合上記入できないメンバー
- ●六甲オリエンタルホテル
- ●有馬温泉古泉閣

KOBE 百店会 ♡ 2001おすすめバレンタインチョコ

二人で甘〜い幸せを分かち合う ユーハイムの「チョコレートケーキ」

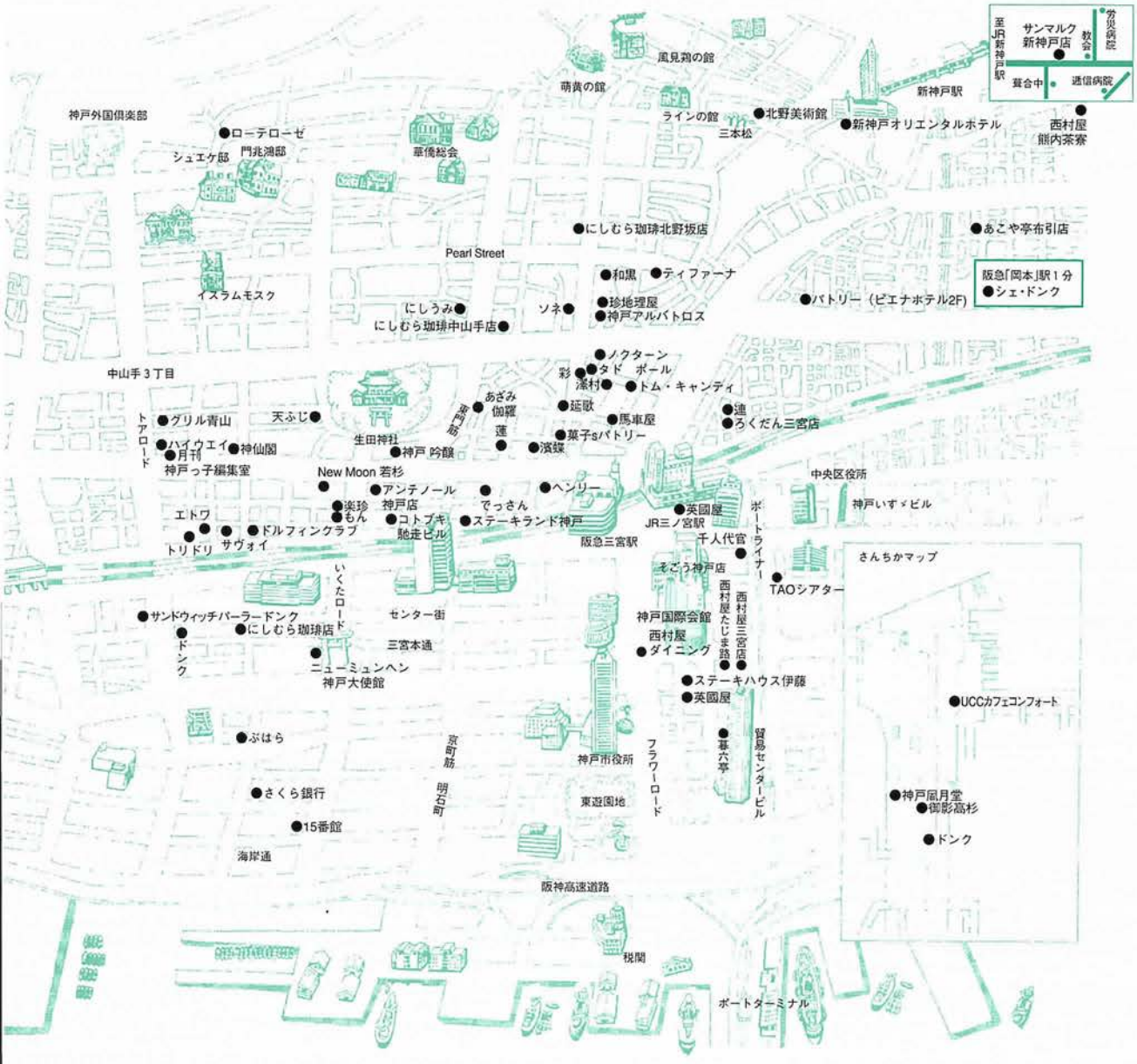
「ユーハイム」から新登場の「チョコレートケーキ」。ドイツ菓子の老舗ならではの、ヨーロッパの伝統的なスタイルでしっとりと焼きあげた本格派ザッハ・トルテは、濃厚でカカオの香り高いチョコレート生地がおいしさの決め手。2人で食べるのにぴったりのサイズだから、ケーキは半分づつ、そして幸せは2倍に。

「チョコレートケーキ」¥800

正統派のチョコを贈りたいなら コスモポリタン製菓の「オディール」

老舗コスモポリタン製菓の歴史ある一品、「オディール」。白鳥の湖の黒鳥の名にちなんだシックで味わい深いブラックチョコレートは、練り込んだリキュールの香りと、チョコをくるむほのかな苦みのある特製パウダーが、まさに大人の味だ。甘いものが苦手な彼にもOK！

「オディール」
¥1200（10個入）



うまいもん&ドリンキング news

新鮮な活魚とうまい酒を味わう「かじき」

ご主人の島村直孝さん

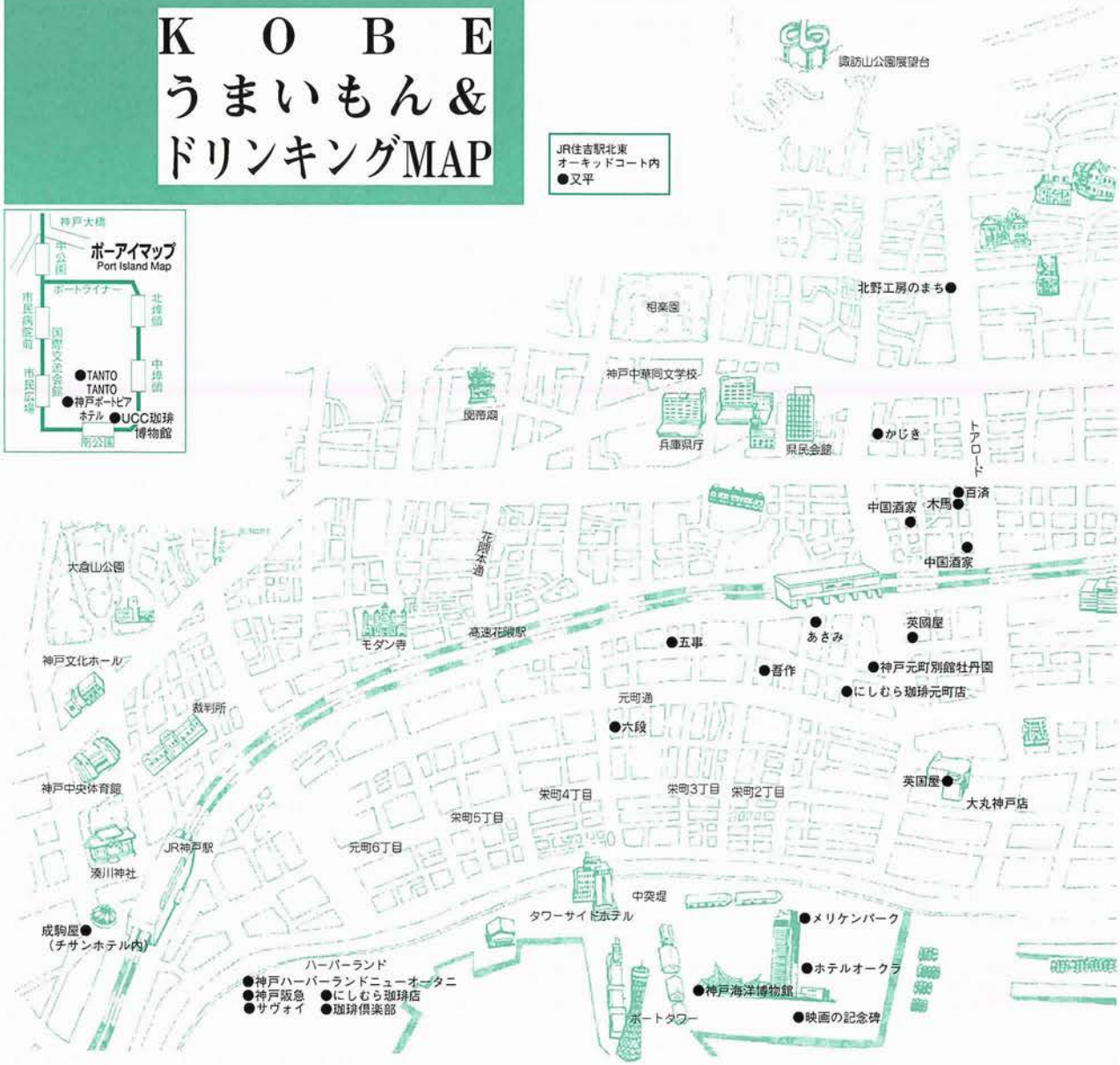
鯉川筋にある日本料理「かじき」は、とにかく魚がうまい店。目の前に新鮮な魚介類が並ぶカウンターと座敷の落ち着いた店内で、あたたかいもてなしと漁港から直送される活魚、おいしい酒が味わえる。

お昼の松花堂弁当（ぜんざい付き・2300円）、にぎり寿司（1000円）、蒸しあな丼（1800円）、いくら丼（1500円）など、手軽に味わえるメニューも人気。新鮮な海の幸の鍋料理（6000円～8500円）、おまかせコース（6000円～）、季節の料理なども。

■日本料理かじき
神戸市中央区下山手通3・15・10
万葉ハイツ元町1F
☎078・332・6029
11：30～14：00
17：00～22：00（21：30ラストオーダー）
日曜休

K O B E うまいもん&ドリンキングMAP

JR住吉駅北東
オーキッドコート内
●又平



うまいもん&ドリンキングnews

吟醸の元祖といえば「吟醸・かしはら」

吟醸酒がまだ一般に出回る前から、いちはやく吟醸を飲ませる店として知られていた「神戸・吟醸」。東門筋の東門ウィズビル5階のスナック「かしはら」といっしょになり「吟醸・かしはら」としてさらに魅力アップ。アットホームな店ではカラオケもOK。

蔵元直送の吟醸酒を、シングル250円、ダブル（一合）500円と、驚きの安さでいただける。「蔵で作らせた自慢の吟醸酒をお手頃なお値段で」と奥さま。吟味した麹、酵母を使って念入りに醸造された、最高峰の吟醸酒が味わえる。

■吟醸・かしはら
神戸市下山手通1・1・15
東門ウィズビル2F
☎078・331・7808（7840）
17：00～22：00
日曜休

気さくな奥さま（写真左）とスタッフのみなさん

KOBE うまいもん&ドリンキング

◆日本料理

どじょう 吾　作
神戸市中央区元町２・７・20
（３２１）０５３９

日本料理 かじき
神戸市中央区下山手通15・10・101
（３３２）６０２９

てんぷら・鉄鍋 天ふじ
神戸市中央区下山手通２・11・24大侑ビル１Ｆ
（３９２）３６３０

寿　司 又　平
神戸市東灘区西岡本2・7・3オーキットコート右峯館ビル1Ｆ
（４５３）１８７７

炭焼きとり トリドリ
神戸市中央区北長狭通2・5・1
（３９１）３０２８

名代讃岐うどん あこや亭
神戸市中央区旗塚通７・１・１
（２３２）２４００

日本料理 澤　村
神戸市中央区加納町４・８・19
（３３２）２２１０

山菜料理と精進の店 ろくだん
神戸市中央区琴緒町５・４・５
三琴ビル4Ｆ（２３１）０４０６

かに料理 西村屋三宮店
神戸市中央区磯上通７・１・20
（２３２）３６６３

たじま牛と懐石 西村屋たじま路
神戸市中央区磯上通７・１・20
（２９１）０２４６

出石城下町 千人代官
神戸市中央区小野柄通7・1・1
日本生命三宮ビルＢ１Ｆ
（２３２）３３５５

うまいもの館 西村屋熊内茶寮
神戸市中央区熊内町１・８・23
グランドール熊内Ｂ１～Ｂ３Ｆ
（２３１）６７６７

鍋懐石 暮六亭（くれむつてい）
神戸市中央区磯辺通３・２・17
ワールド三宮ビル10Ｆ
（２２２）９０６２

居酒屋割烹 花隈　成駒屋
本社・本店 神戸市中央区花隈町23・21（３４１）３３０２
チサン店 神戸市中央区中町通2・3・1　（371）3150

日本料理 お食事処 楽　珍
神戸市中央区北長狭通2・12・10
西村ビル３・４Ｆ
（３２１）５２００

割　烹 寿　司 あさみ
神戸市中央区元町通2-9-1
元町プラザ地下街
（３３１）３９２８

鯖料理 一品料理 にしうみ
神戸市中央区中山手通2-10-22
伸野ビル3Ｆ
（２２２）３２４１

◆各国料理

フランス料理 ドンク岡本グルメ館 シェ・ドンク
阪急岡本駅下車すぐ
（４１２）４１８１

各国料理 コトブキ馳走ビル
神戸市中央区北長狭通1・9・1
（３９１）８６８０

ステーキ 五　事
神戸市中央区元町通３・14・１
（３３２）３２０１

西洋料理 レストラン　ソネ
神戸市中央区中山手通1・24・10
（２２１）２０５５

メキシコ料理 ティファーナ
神戸市中央区中山手通1・21・13
（２４２）００４３

ステーキハウス グリル　青山
神戸市中央区下山手通2・14・5
（３９１）４８５８

ステーキ 六　段
神戸市中央区元町通３・８・４
（３３１）２１０８

ドイツ料理 Weinstube ローテ・ローゼ
神戸市中央区北野町４・９・14
（２２２）３２００

韓国料理 百　済
神戸市中央区下山手通3・1・9
コスモビル１Ｆ
（３９２）５４５８

ステーキ 和　黒（わっこく）
神戸市中央区中山手通1・24・1
ヒルサイドテラス１Ｆ
（２２２）０６７８

スパイスレストラン ぶはら
神戸市中央区三宮町２・２・２
杉本ビル２Ｆ
（３３１）１７３４

北京料理 神仙閣
神戸市中央区下山手通2・13・1
（３３１）１２６３

チャイニーズレストラン ＴＡＯシアター
神戸市中央区小野柄通６・１・９
富士ビルＢ１Ｆ
（２２２）２５５５

欧風料理 も　ん
神戸市中央区北長狭通2・12・12（生田前）
（３３１）０３７２・０３７３

広東料理 中国酒家
トアロード店　神戸市中央区北長狭通3・12・1（３９１）５５３７
元町店　神戸市中央区北長狭通3・8・1（３３２）５５９５

レストラン パトリー
神戸市中央区二宮町４・20・５
（ホテルビエナ神戸２Ｆ）
（２７２）１３１３

イタリア料理 TANTO TANTO
神戸市中央区港島中町６・８・１
ワールド本社ビル１Ｆ
（３０２）５３００

ステーキ 伊　藤
神戸市中央区磯上通８丁目そごうウイング６Ｆ
（２３２）３０３１

レストラン ハイウエイ
神戸市中央区下山手通２・13・７東昌ビル１Ｆ
（３３１）７６２２

上海風味料理 蓮
神戸市中央区琴ノ町緒町５・４・５三琴ビル2Ｆ
（２４２）７８２８

ベーカリーフレンチレストラン サンマルク新神戸店
神戸市中央区籠池通５・１
（２６１）０３０９

◆喫茶・菓子

サンドウィッチ喫茶 サンドウィッチパーラー・ドンク
神戸市中央区三宮町３・８・14
（３９１）５４８５

ケーキ・喫茶 アンテノール神戸店
神戸市中央区北長狭通1・10・６
（３３１）８６４０

宮水のコーヒ にしむら珈琲店
中山手店 神戸市中央区中山手通１・26・３
（２２１）１８７２
三宮店ＪＲ三宮駅山側
（２４１）２７７７
センター街店　神戸市中央区三宮町10・27（３９１）０６６９
北野坂店 神戸市中央区山本通２・１・20（２４２）２４６７
阪急前店 三宮東口山側
（３３２）５７２７
ハーバーランド店
（３６０）１８０３

喫　茶 英國屋
センター街店センター街3丁目
（３９１）９００６
三宮店　国際会館東浜側
（２５１）４５６２
オーパ店三宮オーパ３Ｆ
（２９１）２０３６
ダイエー店ダイエー三宮駅前店９Ｆ（２９１）８２９５
大丸神戸店　大丸神戸6Ｆ
（３３３）４０７８

珈琲専門店 珈琲倶楽部
神戸市中央区東川崎町1・6・1
神戸ハーバーランド
ＭＯＳＡＩＣ（モザイク）１Ｆ
（３６０）０１５１

フランス菓子 菓子ｓパトリー
神戸市中央区中山手通1・8・16
（３９３）０２２２

◆STAND＆SNACK

スナック・酒 延　歌 神戸ター坊の店
神戸市中央区中山手通1・9・24
カタオカビルＢ１Ｆ
（３３２）５７５５

カクテルラウンジ サヴォイ
モザイク店　神戸市中央区東川崎町1・6・1モザイク１Ｆ
（３６０）２５４５
三宮店　神戸市中央区北長狭通２・５・17サンセット21ビル３Ｆ（３３１）２６１５

スナック 珍地理屋
神戸市中央区中山手通1・22・10象ビル１Ｆ
（２４２）０２８８

ジャズラウンジ 神戸アルバトロス
神戸市中央区中山手通１・22・10象ビル2Ｆ
（２３１）３３００

カクテルバー 馬車屋
神戸市中央区加納町４・９・29神戸エステートビル３Ｆ
（３３１）６８１４

シャンソン エトワ
神戸市中央区北長狭通2・5・17サンセット21ビル５Ｆ
（３３２）１７５５

バー トム・キャンティ
神戸市中央区加納町４・９・17幸田ビル１Ｆ
（３３１）２１２２

ラウンジ New Moon 若杉
神戸市中央区下山手通
2・1・13
第13シャルマンビルＢ１Ｆ
（３３１）９５３４

バー ヘンリー
神戸市中央区北長狭通
１・３・11
ノアールビルＢ１Ｆ
（３９１）２６８９

薫香洞 でっさん
神戸市中央区北長狭通１・５・12（３３１）６７７８

スナック かしはら
神戸市中央区下山手通１・１・15東門ウィズビル５Ｆ
（３３１）７８４０

吟醸 神戸・吟醸
神戸市中央区下山手通１・１・15東門ウィズビル2Ｆ
（３３１）７８４０

ピアノバー タド　ポール
神戸市中央区加納町4・8・8
ニューカタオカビル４Ｆ
（３３３）１１９２

スナック ノクターン
神戸市中央区加納町3・2・8
第２扉港ビルB1-A
（３３４）３５１４

メンバーズクラブ 彩
神戸市中央区加納町４・８・2F７北野坂ＦＢＩビル2Ｆ
（３９２）０１５６

クラブ 伽羅
神戸市中央区中山手通１・５・６あざみビル１Ｆ
（３３２）００２２

クラブ あざみ
神戸市中央区中山手通１・５・６あざみビル２Ｆ
（３３２）２０２５

KOBE百店会

◆宝飾品

宝　飾　田崎真珠店
センター街（391）4085

宝　飾　タジマ
元町通2丁目（331）5761

宝　飾　神戸ダイヤモンド
トアロード（331）2397

宝　飾　木下真珠
山本通1丁目（221）3170

宝　飾　森真珠
二宮町1丁目（241）2125

宝　飾　菊地宝飾
大丸前三宮神社東隣り
（331）5476

宝　飾　今啓パール
山本通2丁目（242）3399

宝　飾　ジュエリー東亜
トアロード店　（222）5098
大丸前店　（333）1120
北野店　（222）4366

◆紳士洋服・用品

お誂え紳士服　「欧風館」O.SHIBATA
元町通4丁目（341）1161

洋品雑貨　サノヘ
元町通2丁目（321）1710

紳士服　洋服の粋　渡辺
国際会館南（251）8501

ファッションプレイス　COL
生田新道（331）2020

オーダーメイド紳士服　テーラー アダムG
国際会館3F（231）3575

◆婦人洋装・用品

帽　子　マキシン
トアロード（331）6711

婦人服　ベニヤ
本店（332）2135～6
さんちか店（321）2678

婦人服飾　コマツヤ
センター街（331）1833
さんちか店（391）5217

オートクチュール　装苑
大丸前（331）7550

婦人・紳士服飾　セリザワ
センター街、
大丸前（391）4624

BALLYブティック直輸入家具　クロス
トアロード（391）1781

婦人紳士靴　ヨシオカ
大丸前（331）5190

婦人服地　マミー
さんちか（321）1358
サンプリック（332）3280
本店（321）2288

婦人紳士靴　クイン
中央区北長狭通2-30-69 トアロード筋角（391）2511

子供服　ファミリア
元町本店（321）2468

メンバーズブティック　ラピス　ジェイ三宮店
中央区二宮4・21・3サンシャイン三宮2番館1F
（222）4068

◆和装・美容

衣　裳　中川衣裳店
センター街（331）5333

衣　裳　つるや衣裳店
大丸前（321）0360

きものジュエリー　とよさき
元町通2丁目（331）2439

美　容　美容室エリザベス
三宮神社前（331）4917

美　容　みどり美粧院
生田神社前（334）1071

美　容　アレックス
トアロード（392）0015
プロコスメコローレ（393）7333
モッズヘアビス（392）0665
アレックスエステ（392）0013
アレック・バドゥドゥ（392）1793
三宮店（230）5707

◆美術・工芸品

画　廊　元町画廊・若木屋
元町通1丁目（331）2359

画材・額縁　末積製額
トアロード（331）1309

美術陶磁器　淡洲堂
センター街（331）8758

新古美術　播新
元町通3丁目（331）2516

記念品贈答品　平山商会
神戸駅前（351）1551

◆家具　家庭・文化用品

家　具　永田良介商店
大丸前（391）3737～9

玩　具　カメヤ
元町本店（331）0090
さんちか（391）4045

カバン　大上鞄店
元町通1丁目（331）3962

メガネ　服部メガネ店
大丸前（331）1123

インテリア雑貨　Vis（ヴィス）
サザンモール六甲B612内
（851）2841

家具インテリア　メープル　FUJIYA
トアロード（391）0535

◆菓子・喫茶

和洋菓子喫茶　神戸凮月堂
元町通3丁目（321）5555
さんちか（391）3455

菓子工房　サ・ソ・ボン
元町通3丁目（321）5250

パンケーキ喫茶　ドンク
センター街（391）5481～3

チョコレート喫茶　モロゾフ
センター街（391）8718
さんちか（391）2146

ドイツ菓子　ユーハイム
元町1番街（333）6868

洋菓子　ユーハイムコンフェクト
熊内店（231）1428

菓　子　本高砂屋
元町通3丁目（331）7367

菓子・パン　神戸ベル
三宮センター街（392）0781

チョコレート　コスモポリタン
三宮京町筋（331）1217

瓦煎餅　菊水総本店
楠公社正門前角（382）0080

喫　茶　UCCカフェコンフォート
さんちか（391）5677

チョコレートキャンディ　ゴンチャロフ
さんちか（391）3563

パン・喫茶　カスカード
さんプラザBF
（331）9738

洋菓子　西洋菓子処フーケ
生田店　（392）0103
フーケ庵（222）0707
元町店　（392）0678

スイス菓子　ハイジ
本社（822）0812

純喫茶　元町サントス
元町通2丁目（331）1079

◆和洋料理

軽料理　蛸の壺
大丸本館北（391）1033

懐石　松迺家 matsunoya1917
神戸交通センタービル9F
（333）0678

ふぐ・天麩羅・寿司　栄弥
さんちか（391）5233

日本料理　華蘭亭
ホテルモント神戸
（392）7111（代）

フランス料理　エスカーレ
ホテルモントレアマリー
（334）1785（直）

フレンチレストラン　北野クラブ
北野町1丁目（222）5123

◆ホテル&商社

観光旅館　有馬温泉　古泉閣
北区有馬町1455・1
（904）0731

政府登録観光旅館　有馬温泉　欽山
北区有馬町1302・4
（904）0701

ホテル　神戸ポートピアホテル
中央区港島中町6・10・1
（302）1111

ホテル　新神戸オリエンタルホテル
新神戸駅前（291）1121

ビール　アサヒビール
栄町通（333）1301

銀　行　さくら銀行
本店浪花町（331）8101（代）

喫茶・紅茶直輸入　UCC上島珈琲
多聞通り（361）8800

あかふじ米　株式会社 神明
海岸通6丁目（371）2131

自動車　神戸いすゞ自動車
中央区雲井通4・2・2
（231）4121

2001年3月号予告

創刊40周年特別号

「神戸っ子40年の、ひと・言葉・風景」

本年3月で創刊40周年を迎える月刊神戸っ子。小磯良平、司馬遼太郎、淀川長治ら…多くの文化人たちにも支えられ、神戸の街にたくさんの提言をし続けてきました。

創刊から震災を経て現在まで、その40年間の歴史を、ひと・言葉・風景を通して振り返ります。

好評連載中

「竹久夢二 四つの恋のものがたり」 中右 瑛
「ミステリーグルメ神戸篇」 ウドノ葉生子（最終回）
「異端の薔薇」 中谷衣里（最終回）

お詫びと訂正

本誌におきまして以下の誤りがありました。ここに訂正するとともに関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

- （12月号P.62）「KOBE2001」イベント情報の中で写真が明石海峡大橋のものになっていました。
- （1月号P.42）株式会社ヴィッセル神戸の代表取締役社長名が誤っておりました。正しくは中野晴雄氏でした。
- （1月号P.86）小林正典の写真展・震災資料展の開催期間の表記が適切ではありませんでした。正しくは1／10～1／28でした。

お知らせ

「サイバーシティー神戸」のホームページで神戸っ子の情報にアクセスできます。
http://www.cybercitykobe.com/

～月刊神戸っ子販売主要書店～

- 神戸市東灘区
  - ジュンク堂住吉店
  - ビブロス甲南山手サティ
  - BF岡本店
  - 文学館六甲アイランド店
  - みかげブック
  - 本山宝盛館
  - 甲南堂
- 神戸市灘区
  - 灘宝文館書店
  - ＢＦ王子公園
- 神戸市中央区
  - 海文堂
  - 丸善神戸元町店
  - アシーネオーパ店
  - アシーネハーバーランド店
  - ジュンク堂三宮店
  - ジュンク堂サンパル店
  - ジャパンブックス
  - ＢＦメトロこうべ
  - 朝日屋書店ポートアイランド店
  - 三宮ブックス
  - ホンジョウブックス
  - ふたば書房大丸神戸店
  - 高橋書店
  - コーベブックスさんちか店
  - 鳥書房
- 神戸市兵庫区
  - なかやま書店
  - ブックス花咲く街角湊川店
  - パルネット新開地店
- 神戸市須磨区
  - 新文堂
- 神戸市垂水区
  - アシーネ小東山店
  - 日東館書林・垂水
  - ビブロスジェームス山サティ
- 神戸市北区
  - ジュンク堂神戸北町店
  - スター商会
- 神戸市西区
  - ジュンク堂学園都市店
  - ペレーネ
  - ビブロス西神戸サティ
  - ブックバーン伊川谷
- 三田市
  - ビブロス三田サティ
- 西宮市
  - ビブロス西宮サティ
- 芦屋市
  - 大利昭文堂
- 明石市
  - ビブロス明石サティ
  - ジュンク堂明石店
  - 木村書店
- 加古川市
  - ブックスアルファ
- 姫路市
  - ジュンク堂姫路店
- 大阪市
  - 紀伊国屋書店梅田
  - ジュンク堂大阪本店
  - ブックストア談新大阪店
- 東京都豊島区
  - ジュンク堂池袋店
  - リブロ池袋店
- 東京都渋谷区
  - 阪急ブックファースト渋谷店
- 東京都千代田区
  - 書泉グランデ
  - 三信書店
- 埼玉県
  - ブックデポ書楽

月刊神戸っ子は左記でもお求めいただけます

神戸ポートピアホテル
新神戸オリエンタルホテル
ホテルグランドビスタ
神戸文化ホール
オートクチュール・マーガレット
アトリエよしこ
ＢＡＲトム・キャンティ
カナートホール
北野坂にしむら珈琲店
ハイジ水道筋店
気まぐれカモメ
ステーキ青山

月刊神戸っ子の定期購読をご希望の方は年間購読料**6000円**を郵便局にてお振り込み下さい

- 郵便振替口座番号
  01160-2-45196
- 加入者名
  有限会社月刊神戸っ子

編集後記

★明石海峡大橋のたもと、舞子公園で世紀越えのカウントダウンを寒風にふるえながら観覧した。明石の大蔵海岸と淡路ＳＡ、そして神戸は垂水のマリンピア神戸の3か所から同時にあがる冬の花火は華麗だった。熱燗が飲みたい！と叫びながら…。2月号〝酒特集〟お楽しみください。《小泉美喜子》

★1月17日から「神戸21世紀・復興記念事業」が9月30日までの日程で始まった。震災から、丸6年。何をもって復興というかだが、ある部分では震災前よりもよくなったし、ある部分では百年経っても成果が望めないだろう。ともあれ、この期間、改めて神戸のひと・まち・みらいを検証したい。《佐井裕勝》

★最近、夜の街もごぶさたでお酒にもめっぽう弱くなった。が、時においしいお酒と料理に巡り会うと眠っていた欲望に火がつく。旅に出るとまた旅に出たくなるようなもの。もっと遊ばなきゃなりません！　欲深く生きよ、刺激を求めよ、ネオンが呼ぶ。《宇都宮さえこ》

★私はまだ「うまい酒」が解る年齢ではないけれど、酒蔵を訪ねて寒い冬に大勢の手によってしぼりだされる宝の水・酒がとてもいとおしいと思った。祝杯のとき、辛いとき、酒はいつもそこにある。21世紀は酒をひかえようとの決意もつかの間だった。《鳥羽朗子》

★甘くほろ苦いチョコレートの季節。たった一個にすべてをかけたときもあったっけ。今年は何個用意しようかしら。義理ってわけではなくて、ちゃんと♥は入ってます。「バレンタインやし、飲みに行こか」と誘ってくれる大切な彼女たちのために…。《山形玲子》

★昔、家族で行った山形の温海温泉で、魚の目がきれいに治ったので、今年もまた期待をして行ったところ、仲居さんが驚いて「私は毎日入っているのにとれません」と。熱湯に近い地元の人が入る外湯にも入って3日間温泉三昧。効果があったのか今のところＯＫ。《小泉昭子》

発行人
小泉美喜子
編集長
佐井裕勝
編集・営業
宇都宮さえこ
鳥羽朗子
山形玲子
営業
高橋直人
大原宇勉
デザイン
西真有美
奥下あゆみ
古賀佐和子
別冊編集長
小泉昭子

月刊神戸っ子　No.477
★発　行／2001年2月1日
★発行所／月刊神戸っ子編集室
〒650-0011
神戸市中央区下山手通2・13・3
建創ビル4階
TEL 078(331)2246(代)
FAX 078(331)2795
kobecco@po.sphere.ne.jp
★東京編集室
TEL 03(3993)0297
FAX 03(3993)1899
★頒価400円

兵庫県
和紙ちぎり絵協会
設立記念展

入場無料

平成13年3月22日(木)～26日(月)

時　間：10:00～20:00(最終日は12:00まで)
ところ：神戸国際会館11F　ココミックギャラリー
(三宮駅から徒歩3分神戸そごう店南隣)
TEL.078-230-3380(会期中のみ)

〈出品〉
荒川ひろみ(神戸市)
有年則子(赤穂市)
生島宮子(明石市)
岩井佐規子(明石市)
上野文子(神戸市)
河崎伯都美(川西市)
河内隆子(宝塚市)
桑木千鶴子(宝塚市)
後藤友子(加古川市)
小林惠子(神戸市)
佐々木巣子(揖保郡)
佐藤貞子(小野市)
関　昌美(加古川市)
中野義彦(神戸市)
中村美根子(養父郡)
錦織照子(神戸市)
橋本富貴子(神崎郡)
藤本伊都子(加古川市)
藤田美悠紀(川西市)
前田好美(神崎郡)
山本登美江(川西市)
―50音順―

〈特別出品〉
田中悠子(三木市)
〈貸助出品〉
阿部ひろ子(東京都)
松本和子(大阪府)

主催：兵庫県和紙ちぎり絵協会

後　援：(財)兵庫県芸術文化協会
(財)神戸市民文化振興財団
神戸新聞社・サンテレビジョン
(財)日本和紙ちぎり絵協会

お問い合せ先　代表世話人　岩井佐規子　TEL.078-935-0454
事　務　局　石塚摩寿美　TEL.078-821-1283

第2回展(公募展)

と　き：平成14年1月23日(水)～27日(日)
ところ：兵庫県民アートギャラリー(兵庫県民会館内)

昭和40年1月20日第三種郵便物認可
編集／発行（有）月刊神戸っ子 〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-13-3

自分を飾る香りがあるように、
自分に戻る香りがあります。

ucc
Good Coffee Smile

服を着替えたり、アクセサリーを外すようには、心はすぐにハダカになれないから。
ありのままの自分に戻りたいときは、コーヒーをいれてみませんか。
部屋いっぱいに広がる香りとともに、
心がゆっくりほどけていく。渇いた部分が満たされていく。
香りに包まれてカップ一杯分の時間が流れたあと、
そこにはきっと、本当の自分がいるはずです。

オリジナルブレンド　モカブレンド　キリマンジャロブレンド

そこにいつも、挽きたての香り。
UCCレギュラーコーヒー
SUPER AROMA
グラインドから包装まで酸素をシャットアウトした独自の製法
〈スーパーアロマシステム〉で、豊かな香りを封じ込めました。

Good Coffee Smile お客様の笑顔のために、コーヒーにできることのすべてを。 http://www.ucc.co.jp/ UCC上島珈琲株式会社

本体381円